

(注：本翻訳資料は外国人生徒の日本語指導用に作られたものです。)

中国語訳/劉穎<日中文化サロン守山 <https://shiga-chinese-class.netlify.com/>>

国語 I

中学校 1 年/教科書 光村図書

目次

詩：朝のリレー 谷川俊太郎

この教科書で学習するみなさんへ

教科書の構成

本編

1. 学びをひらく
2. 新しい視点で
3. 言葉に立ち止まる
4. 心の動き
5. 筋道を立てて
6. いにしへの心にふれる
7. 価値を見いだす
8. 自分を見つめる

学習を広げる（巻末）

本編学習を支える資料。必要に応じて、活用しよう。

主な記号：

学習の窓、新出漢字・新出音訓、注意する語句、その他



国语

中学1年/教科书

光村图书

目录

诗：清晨的接力赛 作者：谷川俊太郎

至学习此教材的同学们

教科书的构成

本篇

1. 扩展知识
2. 以新的视点
3. 停留在词语上
4. 心灵活动
5. 让条理清晰
6. 去理解往昔的精神
7. 发现价值
8. 观察自我

扩展知识（卷末）

学习本篇的参考资料。请根据需要活用。

主要的符号：

学习之窗、新出汉字・新出音读和训读、应注意的语句、其他。

（注：本翻译资料用于外国学生的日语指导，仅供参考）

中文翻译/刘颖<守山日中文化沙龙 <https://shiga-chinese-class.netlify.com/>>

詩：『朝のリレー』

たにがわしゅんたろう
谷川俊太郎

カムチャツカの若^{わかもの}者がきりんの夢^{ゆめ}を見^みているとき

メキシコの娘^{むすめ}は朝^{あさ}もやの中^{なか}でバスを待^まっている

ニューヨークの少^{しょう}女^{じょ}がほほえみながら寝返^{ねがえ}りをうつとき

ローマの少^{しょう}年^{ねん}は柱頭^{ちゅうとう}を染^そめる朝陽^{あさひ}にウインクする

この地球^{ちきゅう}ではいつもどこかで朝^{あさ}がはじまっている

ぼくらは朝をリレーするのだ

けいど
経度から経度へと

そうしてい^{こう}わ^{たい}ば交^{ちきゅう}替^{まも}で地球を守る

ねむ まえ
眠^{みみ}る前^{みみ}のひととき耳をすますと

どこか^{とお}遠^{めざまし}くで目覚^{めざまし}時計^{とけい}のベルが鳴^{べる}っている

それはあなたの送^{おく}った朝^{あさ}を

だれ
誰^うかがしつかりと受^{しょうこ}けとめた証拠^{しょうこ}なのだ

作者の紹介/新潮社

谷川 俊太郎：1931 年東京生れ。詩人。1952 年第一詩集『二十億光年の孤独』を刊行。以来 8000 を超える詩を創作、海外でも評価が高まる。多数の詩集、散文、絵本、童話、翻訳があり、脚本、作詞、写真、ビデオも手がける。

中国語訳

清晨的接力赛

堪察加半島的年轻人还在做长颈鹿的梦时
墨西哥城的姑娘们已经在晨雾中等汽车了
纽约的少女在梦乡里带着微笑翻身时
罗马的少年朝着染红柱头的朝阳挤眼

这个地球上总会在哪里开始新的一天
我们开始跑清晨的接力赛

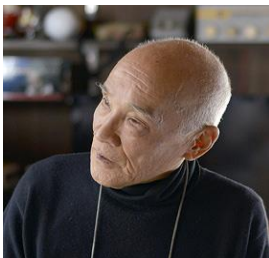
从这个经度跑到那个经度
等于大家交替着保护地球

睡觉前侧耳倾听片刻
可以听到远处传来闹钟的响声

它可以证明有谁稳稳地
将你送走的清晨接在他的手里

作者介绍/谷川 俊太郎

1931 年生于东京，诗人。1952 年发表第一本诗集《二十亿光年的孤独》，之后相继创作了 8000 首诗，并受到国内外的好评。除诗集以外作品还有散文、绘本、童话、翻译、剧本、歌词、写真、录像等。



P12～13

0. 言葉^{ことば}に出会^{であ}うために

これまで、
どんな言葉に出会ってきたらう。
そして、これから
どんな言葉に出会っていくだらう。

きょうかしよ ひら
教科書を開けば

たくさんの言葉^{ことば}が
あなたを待っている。

こくご
国語を学ぶのは

あなた自身^{じしん}をつく^{つく}りあげるため。

言葉は

あなたと世界^{せかい}をつなぎ

あなた自身^{じしん}の世界^{せかい}をつく^{つく}りあげる。

て い かず
手に入れた言葉の数だけ

世界がはっきり見えてくる。

み
身につけた言葉の数だけ

じぶん おお
自分が大きくなっていく。

さあ、友達^{ともだち}を増^ふやすように

言葉を増やしていこう

言葉の数だけ、あなたは世界に^{ちか}近づく。

言葉の数だけ、あなたの世界は大きくなる。

中国語訳

为了与语言相识

以前

我们结识了什么语言

还有，以后

要与什么语言结识呢

只要打开课本

就有无数的语言

在等着你

学习国语

是为了创作一个更好的自己

语言可以

将你和世界连接起来

创作一个属于你的世界

学到的语言越多

世界就看得越清晰

掌握的语言越多

你的胸怀就越宽广

那好，让我们像交朋友一样

增加自己的语言

懂得的语言越多，与世界的距离就越近

懂得的语言越多，你的世界越宽广

P14～15

詩：野原^{のはら}はうたう

1. あしたこそ たんぽぽ はるか

ひかりを おでこに
くっつけて
はなひらく ひを
ゆめにみて
たんぽぽわたげが
まいあがります

とんでいこう どこまでも
あした
たくさんの「こんにちは」に
であうために

2. おれはかまきり かまきり りゅうじ

おう なつだぜ
おれは げんきだぜ
あまり ちかよるな
おれの こころも かまも
ドキドキするほど
ひかっているぜ

おう あついで
おれは がんばるぜ
もえる ひをあびて
かまを ふりかざす すがた
わくわくするほど
きまってるぜ

作者：工藤^{さくしゃ}直子^{くどうなおこ} 1935 年台湾^{たいわん}朴子^{ぼくし}市^し生まれ、詩人・児童文学作家。著書『てつ^{しゅってん}

がくのライオン』、『まるごと好きです』など。出典『のはらうた』

中国語訳

诗：原野在歌唱

1. 明天一定 作者：蒲公英“遥”

将阳光
粘在额头
心里梦想着
开花的日子
蒲公英的绒毛
飞向天空

飞呀飞 飞到天涯海角
为了明天
能和众多的“你好”
相识

2. 我是螳螂 作者：螳螂“龙次”

啊 夏天来了
我元气十足
所以 离我远点
我的心和爪子
兴奋得
闪闪发光

啊 太热了
我要加把劲
淋浴着火一般的阳光
挥舞着镰刀的雄姿
简直让人心动
真酷！

作者：工藤直子 1935 年台湾朴子市出生、诗人・儿童文学家。作品有《哲学的狮子》、《完全喜欢》等。出典《原野之歌》。

1. 扩展知识

接触各种各样的语言，制定学习计划。

P22

文题： 新・俊

目标：

- 读的时候要注意表达心情和行动的语句。
- 沿着展开的场面，领会登场人物关系上的变化。

作者：西 加奈子

1977 年出生于伊朗。小说家。作品有《樱》《青》《黄色的大象》《通天阁》《福笑》《永别了!》《念咒》等。本文专为中学课本创作。

漢字の読み方

はじ (日)初めて (中)初次	ちゅうがっこう 中学校 中学	にゅうがくしき 入学式 入学典礼	しんちょう 身長 身高	おな 同じ 一样	くせ毛 (头发)自然卷
は かた 生え方 长得	に 似る 像	にじゅうめ 二重の目 双眼皮	はなすじ 鼻筋 鼻梁	せいふく 制服 学生服	き 着る 穿
なか 仲よく 关系好	じしゃく 磁石 磁铁	ひ あ 引き合う 吸引	はなし 話 话	す 好き 喜欢	た もの 食べ物 食物
の もの 飲み物 饮料	たんさん 炭酸 汽水	つよ 強い 强	ねえ 姉ちゃん 姐姐	ちよくせつ 直接 直接	の 飲む 喝
くつした 靴下	たいいく 体育	おんがく 音楽	に がて 苦手	たんじょうび 誕生日	なまえ 名前

袜子	体育	音乐	不擅长	生日	名字
じゅうぶん 十分	どうじ 同时	ふ にかえ 振り返る	い 言う	じぶん じしん 自分自身	わらう 笑う
足够	同时	回想	说	自己本身	笑
こくご 国語	じゅぎょう 授業	しょうせつ 小説	よ 読む	みじか 短い	ぜんぜん 全然
语文	课	小说	读	短	完全（不）
あか 明るい	くら 暗い	かな 悲しい	せつめい 説明	ぜったい 絶対	りゆう 理由
明朗	昏暗	悲伤	说明	绝对	理由
やす 休み	じかん 時間	せき 席	いく 行く	まちきれず 待ち切れず	きりだす 切り出す
休息	时间	座位	去	等不及	提出/说起
かお 顔	あたま 頭	きがする 気がする	なに 何	か 書く	おも 思わず
脸	头	感觉	什么	写	不由自主
くる 苦しい	まよ 迷う	ほう かご 放課後	あいか 相変わらず	あめ ふ 雨が降る	いちじかんめ 一時間目
痛苦	犹豫	放学后	与以前一样	下雨	第一堂课
くちかず 口数	すく 少ない	あと 後	しんばい 心配	らく 楽	なさ 情けない
话（多/少）	少	后	担心	轻松	窝心/难过
ゆうき 勇氣	おぼ 覚える	きゅう 急	へん 変	ひっし 必死	つづ 続ける
勇气	记住	突然	奇怪	拼命的	继续
きず 傷つける	はっけん 発見	おお こえ 大きな声	て 照れくさい	にんげん 人間	まえ 前
伤害	发现	大声	害羞	人类	以前/前面



《新・俊》

初次见到“新太”的时候我很惊讶。因为在中学的入学典礼上，我看到了会场还有一个“我”。不仅身高一样，还有微卷的头发，双眼皮的大小，甚至连鼻梁的长短都很像。因为穿着一样的校服，他长得更像我了。两个人很快成了朋友，仿佛被磁铁互相吸引。

从他的话里得知我们的喜好也一样。喜欢吃汤汁多的牛肉盖饭，喜欢喝碳酸强的汽水，家里都有一个姐姐，还有都喜欢直接从水龙头接水喝，不喜欢穿袜子，喜欢上体育课，不喜欢上音乐课。

虽然生日不同，姓和名也不一样，但是我叫“俊太”^{jùn} 他叫“新太”^{xīn}，在这一点上也有点像，简直像一对双胞胎。于是大家叫我们俩“新俊”^{xīn jùn}，听见叫这个名字我们会同时回头答应。因为两个人总在一起。和新太聊天总觉得话会滔滔不绝地涌出来。他说自己也是这样。和俊太说起话会忘了时间。我们就像在与自己说话，连笑的地方和生气的事情都一样。

有一天，在语文课上读了一篇小说。是个悲剧短篇，风格低调阴暗，但不知为什么我却很喜欢。因为说不清为什么那么喜欢，于是想去问新太，我这么喜欢，他也一定很喜欢。如果是这样，新太肯定会告诉我他喜欢的理由。

好不容易到了课间休息，我迫不及待地去找新太。开口说起小说的话题，但是新太却皱着眉头说：“我不喜欢那个故事”。这个反应实在意外，我像被重重地打了一拳。

他接着说：“风格太低调了。不知道作者要表达什么！”听了新太的话，我不由得点了点头说：“确实，我也不大喜欢”。这一天过得很难受。

我的悲伤是因为自己喜欢的东西新太不喜欢。而且懊悔没能说：“我喜欢这个故事”。我不喜欢与新太不同的自己，正因为两个人的喜好完全一样才被称为“新俊组合”。出现了不同就不能在一起了，那可不行，绝对不行。

从那以后，和新太说话的时候总是很小心。虽然我们和以前一样，课间休息或放学以后都在一起。但是话没有以前那么多了。我说的是一些理所当然的话题，比如“下雨了”，或者“明天的第一节课是体育啊”等等。

新太也有点怪。和我一样变得不爱说话，即使张口也是说些无足轻重的话。最后两个人干脆沉默了。没有话说气氛变得尴尬，所以我们渐渐地分开了。班里的同学好像很在意“新俊组合”为什么解散。但是我们无法和他们说明两个人之间发生了什么。

有一天，一个同学问我：“你和新太吵架了吗？”我心想，要是能吵架该多痛快。什么都没做，但为什么会这么尴尬呢。我对自己很懊恼。对了！干脆和他吵一架，虽然需要勇气，但总比这么尴尬要好些。于是我叫了一声：“新太”。

新太看着我，有点害怕的样子。

“我，我喜欢那篇小说”。

“你说什么？”

他可能记不得了。突然提起这些自己都觉得怪怪的。但是话必须从这开始，我鼓起勇气接着说：“我喜欢国语课本上的那篇小说”。

新太说：“我知道”。接下来的话更加令我震惊：“我知道说不喜欢的时候，俊太一定很伤心”。

原来新太觉察到了。我想向他道歉，但还没等我张口，新太已经在说：“对不起”。而且还补充道：“那件事发生以后我们都有点怪，不是有点，而是非常怪。”

我回答：“可不是嘛，怎么说呢！”

“说了很多不足轻重的话，对吗？”

“对，对！”

新太和我已经有好久没这样说话了。可以感到周围同学投来的视线。但是我不在乎，继续说：“我发现了和新太不同的地方，很不安。”新太也不顾周围，马上回

答：“我也一样啊”。他说话的声音很大，吓了我一跳。就连他自己也不好意思地笑了。然后又笑着说：“实际我很害怕伤害俊太”。

我喜欢他的笑容，非常喜欢。于是马上回答：“不会的，没关系”。

“是吗？”他担心地问。

“即使新太不喜欢我喜欢的东西也没关系。虽然有点难过，但是这种情况就更该好好谈谈。分析一下喜欢和不喜欢的原因，对吧！”

新太看着我的眼睛，我也没有避开他的视线。我们还是很像。

他爽快地回答：“好，以后好好说话。”

我们虽然像，但完全是两个人。

“对，多说。”从那以后，我们比以前更爱讲话了。

P38～漢字①

練習 1

じゅうだん さんがく れっとうかん じんぞう こうそう きそ がんこ はへん
縦断 金額 劣等感 腎臓 高層 起訴 頑固 破片

練習 2

ふくそう えりもと てぶくろ ひょうざん おせん あんたい きょうじゅん くのう けんめい
服装・襟元・手袋 冰山・汚染・安泰 恭順・苦恼・懸命

あんこく めいせい じょうしょう
暗黒・明星・上昇

P40

練習 1

えいが げきじょう ざせき とうじつけん
映画 劇場 座席 当日券

練習 2

あの がか え けっさく
あの画家の絵はどれも傑作だ。

すみ がくふ め とお
速やかに楽譜に目を通す。

すいぼくが み て ところ なご
水墨画を見て、心が和む。

えんぎ けいこ おおく ひと つど
演技の稽古に多くの人が集う。

どうよう き きぶん やわ
童謡を聞いて、気分が和らぐ。

きゅうじつ もっぱ とうげい たの
休日は専ら陶芸を楽しみ。

練習 3

ねんご だぼく きょひ いっかつ いじ いど ぼうせき
捻挫 打撲 拒否 一括 維持 緯度 紡績

P41

2. 以新的视点

注意文章在说明上所下的功夫，扩展对事物的认识。

文题：大萝卜是植物的根吗？

作者：稻垣 荣阳

1968 年出生于静冈县。农学家。著作有《我们身边的野草过着快乐的人生》《十分之二的蚂蚁都是懒汉》《不可思议的蔬菜们》等。本作品出自《卷心菜也开花》的改写。

目标

- 确认本文是怎样使用“比较”的。
- 注意段落的作用，把握文章的内容。

かんじ よ かた
漢字の読み方

まいにち 毎日	しゅるい 種類	やさい 野菜	た 食べる	しょくぶつ 植 物	ね 根
每天	种类	蔬菜	吃	植物	根
は 葉	はな 花	み 実	き かん 器官	たと 例えば	ぶ ぶん 部分
叶	花	果实	器官	例如	部分
しろ 白い	かんじ 漢字	だいこん 大根	か 書く	おも 思う	たんじゆん 単 純
白色	汉字	大萝卜	写	觉得	单纯
ぎ も ん 疑問	こた 答える	め 芽	あいだ 間	な た 成り立つ	たね 種
疑問	回答	芽	之间	构成	种子
なが 長く	は 生える	ほそ 細い	たい 対して	つく 付く	あな 穴
长	长出	细	对	带	洞
あ 空く	ふと 太い	あじ 味	ちが 違う	すいぶん 水分	おお 多い
空出	粗	味道	不同	水分	多
あま 甘み	とくちょう 特 徴	ち か 地下	きゅうしゅう 吸 収	ちじょう 地上	おく 送る
甜味	特征	地下	吸收	地上	运送
つく 作る	とうぶん 糖分	えいようぶん 栄養分	やくわり 役割	から 辛い	ま す 増す
造/做	糖分	营养	作用	辣	增加
ひ か く 比較	じゅうばい 十 倍	せいぶん 成分	ち え 知恵	り ゆ う 理由	ほう ふ 豊富
比较	十倍	成分	智慧	理由	丰富
はこ 運ぶ	じ き 時期	つか 使う	たいせつ 大切	つち ちゅう むし 土・中・虫	こま 困る
搬运	时期	使用	重要	土 中 虫	为难
がい 害	み まも 身を守る	ふだん 普段	さいぼう 細胞	は かい 破壊	かがくはんのう 化学反応
有害	护身	平时	细胞	破坏	化学反应

おこす 引起	はつき 发挥	しく組み 构造	かつよう 活用	ちょうり 調理	ひきだす 展现
むく 适合	にがて 不擅长	みりよく 魅力	すく 少ない	ちからづよ 力強く	ちよくせんてき 直線的
ぎやく 逆に	えん 円	こと 異なる	はたら 働き	あたらしい 新しい	なにげ 何気なく
かんさつ 觀察	きょうみぶか 興味深い	はっけん 発見	ほか 他の	しらべる 調べる	きづ 気付く
观察	感兴趣	发现	其他	查	觉察

本文：

大萝卜是植物的根吗？

我们每天食用种类繁多的蔬菜。蔬菜属于植物，因此由根、叶、茎、花、果实等部分组成。以卷心菜和生菜为例，它们食用的部分是叶部，而西红柿和茄子的食用部分是果实。

那么我们平时吃的“大萝卜”，白色的部分属于那个部分呢？日语的大萝卜用汉字写是“大根”，因为它的形状非常像根。但事实并不那么简单。

为了回答这个疑问，我们看着“萝卜芽”来讲解吧。“萝卜芽”由双叶和根以及其间成长的茎（胚轴）组成。根部的上侧是从种子长出的“主根”，下侧是从主根长出的像胡须一样的“侧根”。

再看看我们吃的“大萝卜”就明白了。它的下侧带着细细的侧根或侧根留下的小坑。大萝卜的下侧是主根变粗而成的。再看看大萝卜的上侧，就知道它没有侧根很光滑。这个部分不是根，而是由胚轴变粗的。也就是说，大萝卜的白色部分是由根和胚轴两个部分组成。

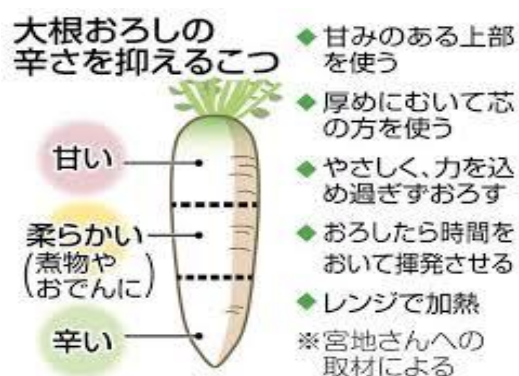
实际这两个部分的味道也不一样。那为什么呢？

胚轴部分的特点是水分多，有甜味。胚轴从地下吸收水分，然后送到地上的叶子，叶子的任务是将形成的糖分等营养成分送到根部。相反，根部的特点是比较辣，而且越往下辣味越重。大萝卜的最上侧和最下侧相比较，下侧要比上侧辣十倍。在此隐藏着它的原由，也可以说是植物的智慧。

叶部形成丰富的养分被运到根部。因为它们是以以后用于花期的重要养分，所以不能让土中的虫子吃掉。这样为了防止虫害保护自己，才储藏了辛辣成分。大萝卜的辛辣成分平时储存在细胞里。在构造上如果遭到虫蛀，细胞被破坏的话，就会产生化学反应，发挥辛辣作用。因此，越是众多的细胞被破坏，辣味越重。

如果将这些特征利用在烹饪上，就可做出各种味道的大萝卜。例如，做萝卜泥的时候喜欢吃辣的人选择下侧，不喜欢吃辣的人使用上侧，这样可以做出辣味较少的萝卜泥。此外，在擦大萝卜的时候如果用力直线擦的话，细胞会被破坏，辣味会更重。相反，擦的时候如果像画圆圈一样轻轻地擦，被破坏的细胞较少，辣味也就减少了。

可见，大萝卜的白色部分是不同器官形成的。部位作用的不同决定了味道的不同。我们平时吃的普普通通的大萝卜，如果作为植物来观察，就有很多趣味无穷的发现。那么，其他蔬菜又是怎样呢？如果进行多方面的调查，也许会发现以前没有注意的蔬菜的新魅力吧。



文題：请停下脚步

作者：桑原茂夫

1943 年出生于东京都。诗人，评论家。著作有《语言游戏百科》《御田八幡画卷》《不可思议的阿丽斯（图解）》《印象冒险》等。本作品的原题为《骗人画百科》，专为中学课本改写。

目标

- 理解作者的主张和事例的关系。
- 注意段落的严谨，把握文章的要旨。

漢字の読み方

たちとまる 立ち止まる 站住	じぶん 自分 自己	おも 思う 觉得	ひと じん にん 人・人・人 人	してき 指摘 指出	おし 教える 教
けいけん 経験 经验	おおい 多い 多	うえ ず 上の図 上图	だい 題 题目	しゅるい 種類 种类	え 絵 画
ぶぶん 部分 部分	ちゅうしん 中心 中心/为主	ゆうしょう 優勝 优胜	かたち 形 形状	う かりあ 浮かび上がる 浮现	くろ 黒い 黑
こんど 今度 下次/这次	ぎやく 逆 相反	ちゅうもく 注目 注目	むきあ 向き合う 面对	ふたり 二人 两个人	かお 顔 脸
かげえ 影絵 皮影画	ばあい 場合 如果 的话	め 目 眼睛	にちじょうせいかつ 日常生活 日常生活	いま 今 现在	こうえん 公園 公园
いけ 池 池塘	か 架かる 架	はし 橋 桥	あた 辺り 附近	ひとり 一人 一个人	しょうじょ 少女 少女

ひき ^つ 付ける 吸引	しゅうへん 周辺 周边	すべ 全て 全部	たん 単なる 单纯是	はいけい 背景 背景	ま 間に 期间
あ 合わせる 配合	かたち 形 形状	とお 通る 通过	はたら 働き 工作	いちめん 一面 一面	き 決める 決定
か 変える 改变	おく ^{ほう} 奥の方 里边	わか 若い 年轻	じょせい 女性 女性	けがわ 毛皮 皮大衣	あご 顎 下顎
べつ 別の 别的	むずか 難しい 难	かんたん 簡単 简单	いしき 意識 意识	す ^き 捨てる 抛开	けしょうだい 化粧台 化妆台
すわ 座る 坐	とお 遠ざける 远离	おな 同じ 一样	ちか 近く 近处	まった 全く 完全	ちが 違う 不同
う ^と 受け取る 接到	かぎ 限る 只限	しゅうれい 秀麗 秀丽	ふじさん 富士山 富士山	がんせき 岩石 岩石	ろしゅつ 露出 露出
すがた 姿 姿态	わ 割れる 碎	いんしょう 印象 印象	とら 捉える 认为	もの 物 东西	よろこ 喜び 喜悦
し 知る 知道	ふうけい 風景 风景	みかた 見方 看法	ため 試す 尝试	きより 距離 距离	



鲁宾之盃（英語：Rubin vase）

视错觉（英語：Optical illusion）

本文：

请停下脚步

自己认为是 A 的事物，别人却指出可能是 B。像这样被他人提醒后恍然大悟的经验应该不少吧。

左图的名字叫“鲁宾之盃”。仔细观察，这张图能看出两种图案。主要看白色部分的时候，眼前会清晰地浮现出一个酷似奖杯的图案。这时的黑色部分只是背景。相反，我们再去注目黑色部分的话，就能看到有两张脸的影子面对着面。这时的白色部分成了背景。

以此图为例，注意看“奖杯”的时候，能看到的两张脸竟然看不到了。如果注意看“人物脸”的时候，一瞬间奖杯就从视野里消失了。

这种情况在我们的日常生活是经常经历的。假设现在将视线转向公园池塘上架着的一座桥，从桥那边走来一个少女。这时人的视线会被少女所吸引，桥和池塘等周围的全部事物只是背景而已。用照相机来解释的话，就是焦点瞬间投向少女。相反，如果那个桥的形状独特，引人注目的话，上边走的人都会成为背景。

视觉行动具有意想不到的一面。它会在一瞬间决定要看的東西，也可以把目标自由转换。

我们再看看中图有何效果。有的人看来，这是一幅摆好姿势面向远方的少妇画。但有些人看来，它却是一副将下颚埋在皮大衣里的老奶奶。也许有人还能从画里看到其他什么。

谁都在刚看的时候，马上认为是一副什么画。但是如果这样就难以看出是别的画了。认为是少妇的人很难看出是老奶奶的画。要想将画看成老奶奶，首先要把现在看到的少妇画从意识中去掉。

那么，我们再看一下右图。大概可以看出是一副坐在化妆镜前的“妇女画”。但是这幅画里同样隐藏着另一副画。下面我们从远处看看这幅画，这时会发现这张图竟然变成了一副“骷髅画”。同样一张画，远看和近看的结果竟然截然不同。

这种现象并不只限于欣赏画。从远处看富士山非常秀丽，但是接近后会看到它

露出岩石的粗犷形象。此外，从远处看是非常挺拔的高楼大厦，临近看会发现大楼的墙上满是裂痕和煤烟。

我们很容易被第一眼看到的印象所束缚。只看到事物的一方面，就以为知道它的全部。但是即使一幅图或一个风景，根据看的方式可以看到不同的结果。因此我们看事物时，是否可以停下脚步，尝试用其他方式来看一看呢。如果将视线中的事物换一下，或者改变一下与事物的距离，也许能看到事物的另一面，为新的发现而惊喜吧。

P58

漢字②

練習 1. ^{ゆうしょう}優勝 ^{きょうてき}強敵 ^{てつぼう}鉄棒 ^{たいそう}体操

練習 2.

^{ゆうしょうけんない}優勝圏内で、^{さんち}三^むチームが^{さそあ}競い合う。

^{はじ}初めての^{しあい}試合で^{にるいしゅ}二塁手を^{まか}任される。

^{たいそう}体操で^{おおわざ}大技を^き決め、^{かつさいあ}喝采を浴びる

^{ほうがん}砲丸投げの^{れんしゅう}練習に^{じかん}時間を^さ割く。

^{きゅうどう}弓道の^{しんばん}審判を^{つと}務める。

^{つぎ}次の^{しあい}試合に^か勝てば^{さんれんしょう}三連勝だ。

練習 3

^{かいひん} 海浜	^{ひつてき} 匹敵	^{そうしつ} 喪失	^{さくさん} 酢酸	^{きゅうし} 臼齒	^{かいさん} 皆勤	^{こうたく} 光沢
^{はまべ} 浜辺	^{さんひき} 三匹	^{もちゅう} 喪中	^{くろす} 黒酢	^{せききゅう} 石臼	^{みなさま} 皆様	^{さわのぼ} 沢登り

3. 停留在语言上

接触到丰富的表达方式，体会语言的力量。

诗的世界

目标：

体会诗的用词，让语感更敏锐。

想象诗的情景，学习表达效果。

谷川俊太郎：

在故事的世界里一般会有主人公，情节，时间的推移。和我们平时的生活基本没有什么不同。与此相比，诗歌里没有主人公，也没有故事情节。所以会给我们留下很难，不好理解的印象。就是如此，我们还是能从中体会到难以形容的什么。它有些像音乐，虽然不能用语言来表达，但可以感到日语产生的美妙，让我们珍惜这种感觉吧。

诗：^{いちまい え}一枚の絵

^{いちわ みずとり}
一羽の水鳥が

ことのほか^{はや お}早く起きて

^{こすい}
湖水をめぐった。

^{が か}
画家きどりで

^{あし えふで}
足を絵筆にして。

^{みなも}
水面に

一张画

一只水鸟
偶尔早起
沿着湖边散步
模仿画家的样子
将爪子当作画笔

在水面
颁发完清晨的颜色
水鸟就在湖边
停下脚步
仿佛完成
亲笔签名一样

あさ いろ くば
朝の色を配りおわると

みずとり
水鳥は

こすい すみ うご
湖水の隅で 動きをとめた。

じひつ
自筆の

サインのように。



さくしゃ きさかりょう
作者：木坂 涼，1958 出生于埼玉县。著作有诗集《金色的网》等。

P70

あさ
朝

そら とお や ね ふ
空の遠さが屋根に触れている

……まじわることなく

作者：
吉田加南子
1948 出生于东京都。著作有诗集《定本黑暗》
等。

清晨

遥远的天空接近屋顶
……但不会去触摸它



《定本闇》見ること、闇が光となるまで。…「闇」と「わたし」は、照らしあい、
ひびきあっている。闇はわたしであり、しかし闇である。わたしは闇であり、し
かしわたしである。

《定本黑暗》要看，直到黑暗变作光明。……黑暗和我相互照应，相互回应。黑暗
是我，但还是黑暗。我是黑暗，但还是我。

P70

みかくにんひこうぶつたい
未確認飛行物体

やかん
薬缶だって、

そらと
空を飛ばないとはかぎらない。

みずはい
水のいっぱい入った薬缶が

よだいどころだ
夜ごと、こっそり台所をぬけ出し、

まちうへ
町の上を、

はたけうへ
畑の上を、また、つぎの町の上を

こころみ
心もち身をかしげて、

いっしょうと
一生けんめいに飛んで行く。

あまかわもとわたかりれつもと
天の河の下、渡りの雁の列の下、

じんこうえいせいこした
人工衛星の弧の下を、

いききと
息せき切って、飛んで、飛んで、

(でももちろん、そんなに速かないんだ)

そのあげく、

さばくなかいちりんささびはな
砂漠のまん中に一輪咲いた淋しい花、

だいすしろはな
大好きなその白い花に、

みずもどく
水をみんなやって戻って来る。

未确认的飞行物体

水壶
或许也能飞在天上

装满水的水壶
每晚偷偷溜出厨房

在街上
在田野上，在下一个城市
一心倾斜着身体
使劲儿飞呀飞

在天河下，在大雁渡江的队伍里
在人工卫星的圆弧下
喘着粗气，飞呀飞
(当然，它飞得并不快)

结果
来到沙漠中间 为它喜欢的白花
一枝开得很寂寞的花
将壶里的水浇完再回来



作者：入沢康夫 1931-2018 岛根县出身。著作有诗集《Alborada・太阳升起》等。

目标：理解比喻，加深对语言的认识。
把握各段落在文章整体的作用，正确理解文章的内容。

かんじ よ かた
漢字の読み方

じょうけい 情景 情景	おも う 思い浮かぶ 浮现	あり 蟻 蚂蚁	はね 羽 翅膀	ひょうげん 表現 表达	はこ 運ぶ 搬运
なみ 波 波浪	ゆ 揺れる 摇动	すす 進む 前进	ほ 帆 白帆	かさ 重なる 重叠	だいめい 題名 提名
つち 土 土	ひろ 広い 宽敞	うみ 海 大海	ことがら 事柄 事情	に 似る 相似	べつ 別の 别的
ひ ゆ 比喻 比喻	ある 歩く 走	じしよ 辞書 词典	ことば 言葉 语言	つか 使う 使用	たいせつ 大切 重要
ま あいだ 間、間 间隙，期间	きょうつうてん 共通点 共同之处	きょうゆう 共有 共有	かたち 形 形状	どくしゃ 読者 读者	しゅんじ 瞬時 一瞬间
えが 描く 描绘	ほうふ 豊富 丰富	ちしき 知識 知识	ひつよう 必要 必要	あた 与える 给与	つた 伝わる 传达
い み 意味 意思	し 知る 知道	やくだ 役立つ 有用	あいて 相手 对方	み ち 未知 未知	せつめい 説明 说明
たと 例えば 例如	ず 図 图	ぶひん 部品 零件	ま なか 真ん中 正中间	あな 穴 洞	あ 空く 破
まる 丸い 圆	ひとこと 一言 一句话	つくす 尽くす 尽力	むずか 難しい 难	けいじょう 形状 形状	こうか 効果 效果

ものごと 物事	とくせい 特性	いきいき 生き生き	いんしやう 印象	かみなり 雷	おおごえ 大声
事物	特性	生动	印象	雷	大声
ばあい 場合	こえ 声	おおきさ 大きさ	ひびわた 響き渡る	らいめい 雷鳴	げきれつ 激烈
时候	声音	大	回想	雷鸣	激烈
はくりよく 迫 力	かさ 重なる	じつ 実は	はっそう 発想	ふだん 普段	にんしき 認識
魄力	重叠	实际	想象	平时	认识
いきる 生きる	あたま 頭	きんちやう 緊張	から 空っぽ	い もの 入れ物	かんじやう 感情
活着	头	紧张	空洞	容器	感情
とらえる 捉える	むね 胸	み 満たされる	どうよう 同様	ふか 深く	かんしや 感謝
把握	胸	被满足	同様	深奥	感谢
かんだう 感動	いけ 池	ちから 力	ひやうめん 表面	きより 距離	はな 離れる
感动	池子	力量	表面	距离	离开
ようす 様子	あらわ 表す	な かみ 中身	せいしん 精神	かつどう 活動	もち 用いる
样子	表达	内容	精神	活动	用于
しこう 思考	ゆた 豊か	ひろ 広げる	にちじやうせいかつ 日常生活	ば め ん 場面	おう 応じる
思考	丰富	展开	日常生活	场面	对应
かがや 輝 き	つた 伝える	とど 届ける	そうぞう 創造		
光辉	传达	送	创造		

用比喻扩展语言的世界

请联想以下诗的情景。

土

（诗：三好达治）

蚂蚁拖着蝴蝶的翅膀向前走，啊，真像一只帆船！

这首诗将蚂蚁拖着翅膀比喻成帆船。这种表达方式使蚂蚁搬运的蝴蝶翅膀的摇动和在波浪上前进的帆船的摇动联系在一起。诗的提名是《土》也让人想象广阔的大海。

由此可见，将一事物比喻成相似的另一事物的手法叫做“比喻”。如“好像帆船”，用“好像”“简直”“似的”等来形容。

但是如“那个人是长了脚的词典”，没有上述的词也可以表达。重要的是，比喻的事物和被比喻的事物之间要有共同之处，而且被广泛的共有。蝴蝶的翅膀和帆船的“帆”形状相似，所以读者瞬间会对情景产生联想。听到“那个人是长了脚的词典”，就知道“那个人”有丰富的知识，有事问他一定可以得到我们需要的知识。因为“词典”里有大量的词语，想知道什么去查找就能得到有用的信息，这是大家所公认的。

所以，如果使用对方熟悉的事物来做比喻，即使是对方未知的事物也可以简单地说明。例如，如果想比喻一个形状像下图的零件，你会怎么形容呢。假如对方知道中间是空洞的圆形“甜甜圈”，就可以用一句话“形状像甜甜圈”来说明。但是如果不用比喻的话，可能说很多都难以让对方明白。可见，打比喻能有效地说明形态等。



此外，比喻还具有生动形象地说明事物特征的效果。例如“声音大得像打雷”，只要将声音之大比喻成“回响的雷声”，就可以想象强大的雷声和有力以及恐怖等。

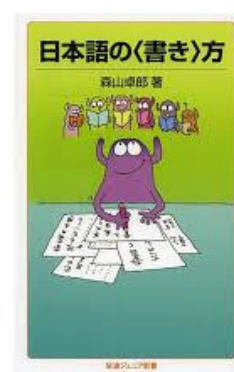
实际，这些比喻的想象存在于我们平时无认识的表达中。例如“放在脑子里”“那件事占据了我的大脑”，“一紧张，大脑就一片空白”等表达方式。这些把“大脑”当作“容纳物品的空间”，把知识和感情当作“装在其中的物品”。其他“满怀感激”“心满意足”等也用了同一种比喻。

此外，像“深深感激”“深深地感动”等表达方式也运用了比喻和想象。本来“深深”是用来形容“深深的水池”等从表面距离较远的地方。但是，形容表面难以估测，有内容的精神活动也用“深深”来比喻。思考和感情等无形的东西也可以用比喻想象的手法来表达。

比喻能够让语言的世界更加丰富多彩。在日常生活中也可根据情况使用比喻。如果达到运用自如的话，我们要表达的事物会更加生动形象，让需要传播的信息更加通俗易懂，给对方留下深刻的印象。我们都具有使用比喻创造想象的能力。

作者：森山卓郎

1960 年出生于京都府。国语学者，著作有《日语的（写法）》《社交日语》等。本文为中学教材所写。



4. 心灵活动

通过语言，理解他人的情感。

课文：《没能长大的弟弟们……》

目标：阅读有关书籍，扩大自己的视野。

以描写为基础，捕捉登场人物的行动和感情的变化。

作者：米仓齐加年

1934-2014。出生于福冈县。演员，导演，绘本作家。代表作有绘本《多毛留》，散文《什么是表演》等。本文出典于《没能长大的弟弟们……》。

本文：

《没能长大的弟弟们……》

我弟弟的名字叫“裕之/ひろゆき”。他是在我上小学4年级的时候出生的。那时的小学被叫做国民学校。

我们的爸爸去了战场。当下正值太平洋战争。美国的B29战斗机几乎每天都飞到日本上空投炸弹，人们把它叫做“空袭”，晚上无法安心睡觉，一来空袭就要躲到地下室（防空洞）里睡觉。

这个地下室实际是自己挖的洞，里边很小。我家是妈妈和我把榻榻米掀开，然后在地板上挖的洞。因为爸爸上了战场不在家，现在家里只有我和妈妈，祖母，还有妹妹和小弟五口人。那个洞里只能勉强坐下我们五个人。小弟刚出生，他不哭也不闹，就爱睡觉。妈妈一边挖洞一边说弟弟很乖，让她省不少心。

当时粮食不够吃，妈妈为了让我们吃饱，自己吃得很少。但是小弟要吃她的奶，妈妈吃得少就没有奶。小弟没了吃的只好喂他浮在粥上的米汤，或者到很远的地方买来羊奶喂他。

街道偶尔发东西，如果有奶粉就成了弟弟难得的食品。但是大家肯定难以想象，

当时甜的东西是多么珍贵。当然吃不到糖果和巧克力，更不用说冰激凌，零食是不存在的。我嘴很馋，经不起奶粉那甜甜的诱惑，多么想吃哪怕一点点，就连口水都要流出来了。

妈妈再三嘱咐我们，奶粉是弟弟的粮食，他还小只能吃奶。但我还是偷偷去喝那珍贵的奶粉，而且不只一次。我当然知道这有多么不应该，但还是偷喝了。尽管我是多么爱弟弟，但还是忍不住。

空袭变得更加频繁和激烈，妈妈建议去乡下避避难。出发当天，让祖母和4岁的妹妹留下看家，妈妈背上弟弟带着我踏上投奔乡下亲属的旅程。但是没想到，亲戚们看到千里迢迢赶来的母子三人，竟冷冷地说：“这里没有多余的粮食给你们”。（其实我们去乡下不是为了乞食，而是想和他们商量搬家的事。）妈妈看到他们这么无情，毫不犹豫地转过身对我说：“走！咱们回家”。

妈妈那时的表情让我至今难忘。她的脸上流露着无比的坚定和悲哀。但又是那么美丽。下决心保护好孩子的信念让她看起来很美。一想起这些，我的心就很痛。

后来，妈妈依靠热心人被介绍去一个陌生的山区逃难。我们马上开始整理必要的行李准备搬家。等到了出发的日子，行李还是装满了一辆马车。我和妈妈，祖母还有弟弟妹妹只好坐在马车承载的行李上边。这样任凭马车的颠簸和摇晃，一大早就出门踏上旅途朝南赶路。从福冈启程南下20公里就是我们要去的山脚下的村庄“石釜”。

在马车上吃了饭团，午后沿着溪流走上山路。蔚蓝的晴空，桃花盛开的山村，从桥上可以看到香鱼在自由自在地游来游去。这些是我有生以来第一次看到的“世外桃源”。年幼的我还难以想象今后生活的苦境，只是怀着期待天真地想：“如果每天来捉香鱼给妈妈做菜，她一定很高兴。”

安排我们住下的是坐落在山脚下的一个农家。房子后边就是后山，像顶帽子一样罩在头顶。农家把面向院子的六贴和室借给我们住。房子前边就是溪流，垫脚石一直铺到对岸。但是一下大雨就没有路了，我们只好过下流的那座桥上学。

妈妈有生以来第一次帮助农家种地。她把午饭的饭团拿回来给我们吃。因为我们是来逃难的，所以村里人自己分东西不给外地人。妈妈只好把自己的和服拿到近邻的农家，求他们换些大米糊口。

最愁人的是即使来到乡下逃难，也没有奶喂弟弟。所以只要听说周围哪个村里的农家养羊，妈妈就将自己的和服用包袱皮包好出去换奶。渐渐地她的几件和服都换了奶。我经常背着小弟去河边玩儿。因为是我央求妈妈生个弟弟，所以非常喜欢这个小弟。但是有一天他生病了。而且被送到离山村有三里路的城里的医院住院。从那以后我每天放学回家的第一件事就是让祖母准备好柴火和吃的东西。然后去赶公交车前往医院探望妈妈和弟弟。弟弟住院 10 天就去世了。

我永远也不会忘记，在夜晚昏暗的灯下，将蘸上水的棉花湿润弟弟的小嘴。他一声不哭，静静地离开了我们。在妈妈和我的守护下闭上了眼睛。死因栏里没写病名，而是写着“营养失调”。

妈妈背着弟弟，我一只手拿着水壶，一只手拿着包着弟弟住院用品的小包袱默默地走回家。脚下是一条被晒得白晃晃的路，三个人朝着山村走啊走。虽然可以坐汽车回家，但是妈妈顾及背着死去的弟弟会影响乘客的情绪，我们走了三里路才回到家。

高高的天空蓝得那么清澈，B29 带着独特的发动机的嗡嗡声，机身在晴空的陪衬下闪闪发光，显得很酷。路上和田里没有一个人影，只有我们三个人默默地走。

妈妈时时用手赶走围着弟弟的脸飞来飞去的苍蝇，说：“裕之是个有福气的孩子。最后有妈妈和哥哥，还有大夫和护士在他身边。那些在空袭中被炸弹炸死的人连尸体都找不到，真可怜！”

回到家，看到等我们回来的祖母和妹妹在哭泣。把和室借给我们的农家伯伯用杉木板给弟弟做了一个小小的棺材。妈妈和我用手捧着弟弟，想让他睡在棺材里。但是因为棺材太小，脚还露在外边。妈妈感慨地说：“裕之长个了！”然后将弟弟的双膝圈起来，让他能躺在里边。这时母亲的泪才唰唰地落下来。

裕之是在爸爸去了战场以后才出生的。所以爸爸最后也没能见弟弟一面。弟弟死去九天以后的 8 月 6 日，关岛被投下原子弹。三天以后的 8 月 9 日长崎也被投下原子弹。又过了六天（1945 年 8 月 15 日）战争终于结束了。

我永远不会忘记战时的饥饿和小弟的死，永远不会。

かんじ よ かた
漢字の読み方

おとな 大人	こくみん 国民	せんそう 戦争	たいへいよう 太平洋	ま さいちゅう 真 最 中	くうしゅう 空 襲
大人	国民	战争	太平洋	正值	空袭
ひこうき 飛行機	ばくだん 爆弾	お 落とす	ぼうくうごう 防空壕	ちかしつ 地下室	ほ あな 掘った穴
飞机	炸弹	投下	防空洞	地下室	挖洞
へや 部屋	るす 留守	かぞく 家族	そぼ 祖母	な 泣く	た もの 食べ物
房间	看家	家人	祖母	哭啼	食物
うす 薄い	はいきゅう 配 給	ひとかん 一缶	おかし お菓子	く 食いしんぼう 食 い し ん 坊	あま 甘い
薄/稀	发东西	一罐	零食	贪吃	甜
ぬす 盗み	なんかい 何回	そかい 疎開	たの 頼む	しんせき 親戚	い な か 田舎
偷	几次	避难	求	亲戚	农村
しんせつ 親切	ひっし 必死	かな 悲しい	き 決まる	にもつ 荷物	ひ こ 引 っ 越 し
好心	拼命	悲伤	決定	行李	搬家
ばしや 馬車	ゆ 揺れる	たび 旅立ち	いしがま 石釜	けいりゅう 溪 流	やまみち 山路
马车	摇晃	出发	石釜	溪流	山路
あおぞら 青空	やまむら 山村	はし うえ 橋の上	とうげんきょう 桃 源 郷	よろこ 喜 ぶ	はず 弾ませる
晴空	山村	桥上	桃源仙境	欢喜	兴奋
のうか 農家	せ わ 世話	うら やま 裏の山	おお 覆う	と いし 飛 び 石	たいがん 対岸
农家	照顾	后山	覆盖	垫脚石	对岸
わた 渡る	かりゅうじょうりゅう 下流上 流	た う 田 植 え	てつだ 手伝い	げんしばくだん 原 子 爆 弾	き も の 着 物
过	下流/上流	种田	帮助	原子弹	和服
さんじょ 近所	こうかん 交換	りんそん 隣村	か 飼う	つつ 包む	びょうき 病氣
近邻	交换	邻村	养	包	生病

さんり 三里	はな 離れる	にゅういん たいいん 入院/退院	ようい 用意	でんき 電気	か 貸す
三里地	距離	住院/出院	准备	电灯	借
しず 静かに	みまも 見守る	びょうめい 病名	えいようしつちょう 栄養失調	かたて りょうて 片手/両手	かわ 乾く
静静的	看护	病名	营养不良	一(両)只手	干
えんりょ 遠慮	す 澄む	どくとく 独特	きたい 機体	かがや 輝く	はたけ 畑
客气	清澈	独特	机身	闪闪发光	农田
ひとかげ 人影	かんごふ 看護婦	いしゃ 医者	ばくげき 爆撃	ひつぎ 棺	すぎいた 杉板
人影	护士	医生	爆炸	棺材	杉木板
けず 削る	ま 曲げる				
削	圈起				

课题阅读：

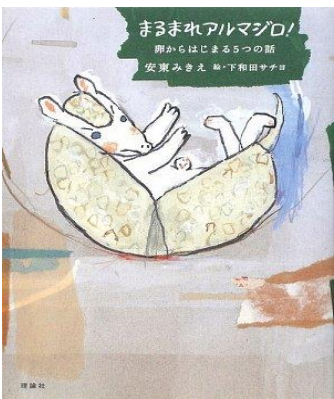
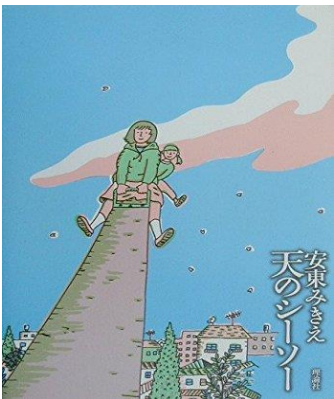
「火垂るの墓」高畑勲（たかはた いさお）。原作：野坂昭如



课文《星花飞舞的季节》

目的：理解比喻的表达方式，想象描写的内容。
将每个场面与人物的描写连接起来，加深阅读作品。

作者：安东美纪绘
1953 年山梨县出身。儿童文学作家。著作有《天空跷跷板》《摔坏脑袋的小熊》《黄昏的玉兰花》《穿山甲快把身子蜷起来/5 个源自卵的故事》。本文专为教科书而写。



かんじ よ かた
漢字の読み方

ほし はな 星の花 星花	ふ ころ 降る頃 落的时候	ぎんもくせい 銀木屋 桂花	あま かお 甘い香り 甜香	ま した 真っ下 就在-下边	はな ち 花が散る 花落
み あ 見上げる 仰望	じめん 地面 地面	ほしがた 星形 星型	うご 動く 动	みき 幹 树干	よ 寄せる 靠着
と こ 閉じ込める 关（围）起	わらう 笑う 笑	きょねん 去年 去年	ふ かえ 振り返る 回顾	おす 押す 推	じしゅうじ かん 自習時間 自习课
お 終わる 完	ひるやす 昼休み 午休	きょうしつ 教室 教室	しゅくだい 宿題 作业	こう 高じる 高兴/兴奋	ほんき 本気 真的去--

じゅく 塾 补习班	さ だ 差し出す 拿出	もんだい 問題 练习题	ことば 言葉 词语/语言	ぶんしょう 文章 文章	とくい・にがて 得意/苦手 擅于/不擅于
かつこう 格好 帅	となり 隣 旁边	じゅぎょう 授業 课	い す ひ 椅子を引く 拉椅子	き 聞こえる 听见	ろうか 廊下 走廊
むかう 向かう 朝着	か か ひま 関わる暇 做-的时间	なかなお 仲直り 和好	けいじ 揭示 通知	なが 眺める 看	まつ 待つ 等
しんゆう 親友 好友	やくそく 約束 约好	かならず 必ず 一定	なんど 何度 几次	す ちが 擦れ違い 岔开	ごかい 誤解 误解
かさ 重なる 重叠	べつべつ 別々 各自	い じ は 意地を張る 要面子	まも お守り 护身符	ふくろ 袋 口袋	てづく 手作り 手工
ちょうせん 挑戦 挑战	こうすい 香水 香水	む り 無理 不可以	ため 試す 尝试	ひろ 拾う 拾	さそ 誘う 约
すがた 姿 影子	め はい 目に入る 看到	しんぞう 心臓 心脏	な むね 鳴る胸 心跳	いき す 息を吸う 吸口气	あし ふ だ 足を踏み出す 迈出一步
どうじ 同時 同时	いっしゅん 一瞬 一瞬间	かお そむ 顔を背ける 背过脸	とお す 通り過ぎる 走过	えいぞう 映像 动画	へん 変に 奇怪的
なが かん 長く感じる 感到很久	そうぞう 騒々しい 吵闹	もど 戻る 回到	くちびる 唇 嘴唇	か よ 駆け寄る 跑过去	うらもん 裏門 后门
つうろ 通路 走廊	つよ ひ ざ 強い日差し 阳光强烈	いろ と 色が飛ぶ 失去颜色	ひんけつ 貧血 贫血	しろしろ 白々 白晃晃	こうけい 光景 光景
に 似る 相似	ともだち さが 友達を探す 找朋友	ねっしん 熱心 热心	ほんとう 本当 真的	としょいいん 図書委員 图书委员	あつ 集まり 聚集
おそ 遅い 晚	くつ は 靴を履く 穿鞋	こうてい 校庭 校园	けあな 毛穴 毛孔	たまし 魂 灵魂	と だ 溶け出す 融出

あつ 暑い 热	うんどうぶ 運動部 运动小组	どうぶつ 動物 动物	い かわり 入れ替わり 交换	た かわり 立ち代わり 交换	みずの ば 水飲み場 饮水处
せんさい 繊細 纤细/敏感	ばめん 場面 场面	きぶん 気分 心情	にく 憎たらしい 可恨	れんしゅう 練習 练习	はな ところ 離れた所 远处
みが 磨く 擦	ぬ め 縫い目 缝线处	すな お 砂を落とす 刷沙子	て い 手入れ 打理	おも だ 思い出す 想起	ひ かげ 日陰 背阴处
すみ っこ 隅っこ 角落	せ な か まる 背中を丸め 弯着腰	もくもく 黙々 默默地	きゅう 急に 突然	すいどう 水道 水道	じゃぐち 蛇口 水龙头
ひ こ 引っ込み 缩回来	りんかく 輪郭 轮廓	あしおと 足音 脚步声	かお ふ 顔を拭く 擦脸	こわ 怖い 怕	だま 黙る 不说话
い が い 意外 意外	み あ 見合わせる 对视	せ たか 背が高い 个子高	あ 当てる 捂着	なみだ 涙 泪水	まわ みち 回り道 绕远
こうえん 公園 公园	た ち よ 立ち寄る 去	じょうりよくじゅ 常緑樹 常绿树	は っぱ 葉っぱ 叶子	まるが 丸刈り 剪圆	まるやね 丸屋根 圆屋顶
ひみつ き ち 秘密基地 秘密基地	だいじょうぶ 大丈夫 不要紧	ゆうがた 夕方 黄昏	ひ ざ 日差し 阳光	こ かげ 木陰 树荫	すず 涼しい 凉快
そうじ 掃除 扫地	くさ 草むしり 拔草	て やす 手を休める 停手	じ き 時期 时期	はるさき 春先 初春	あんがい 案外 意外
やっかい 厄介 麻烦	くび かし 首を傾げる 不能相信	ふる 古い 旧	ぼうし 帽子 帽子	くら 暗い 暗	は 歯 牙齿
どうぐ 道具 工具	かか 抱える 拿着	はんたいがわ 反対側 对面	ちぢ 縮む 缩小	ひ 陽 太阳	はんえんきゅう 半円球 半球
そら ちゅう 宙/宙 宇宙	ひかり 光 光明				



课文：

《星花飞舞的季节》

桂花那一串串星型的小白花散发着甜甜的花香，落下来的时候像片片雪花一样静静的没有一点声音。去年秋天我和夏实两个人站在树下久久地仰望花瓣飘落下来。脚下不知何时铺了一层星型的小白花地毯。我和夏实将身体靠在树干上，笑着说：“哎呀，我们被满地的花围起来了！怎么舍得踏在上面，真是寸步难行啊！”

——咚！吓了我一跳。正在愣神回想去年的事情，“户部”猛地撞在我的书桌上。他生气的回过头向身后的男生喊：“喂！别撞我。这不像我在故意骚扰女生吗。”自习课刚上完，因为到了午休时间，教室里开始喧嚷起来。

我瞪了户部一眼问：“有什么事吗？”

他把课外补习班的卷子拿给我说：“我是来问你作业的。那几个家伙把我推过来。”户部因为平时总和足球队的队员打打闹闹，所以一出手就发展成打架斗殴。真让人无法理解。

这会儿他又央求我：“这道题要用（恰似）这个词造句，你语文好，教教我吧。”我不明白为什么从小学就一起长大的户部总缠着我。和我报一个补习班，虽然进了足球队但没有先辈们那么帅。因此冷冷地回答：“我也不会，你自己想嘛。”

这时从隔壁教室传来嘎达嘎达拉椅子的声音，看来已经下课了。我马上站起来，一直朝走廊走去，这使户部退后了几步。现在没功夫搭理户部，因为我决定今天与夏实和好，所以一边装作看墙上贴的海报和通知，一边在走廊等着“夏实”出来。

我和夏实说好上了中学也一直是好朋友。所以春天开学以后虽然没被分到一

个班，但是每天放学都一起回家。但是后来接连有过几次误会和不巧，就各自回家了。可能是我们都有些好面子吧。

我从口袋上边轻轻抚摸了一下放在里边的小塑料袋（护身符）。那里边放的是桂花的花瓣。因时间已久已经不太香了，但对我来说依然很重要。去年我和夏实说好用这些花瓣做手工，但是始终没能实现。今天见到她我想约她用这些已经不太香的花瓣虽然做不了香水，但总可以做香皂。等到了秋天我们再一起拾些新的花瓣，做几个荷包。我想夏实一定在等我先搭话。

我看到夏实走出教室向这边走来。这使我清楚地感到自己的心脏在咚咚地跳。于是深深地吐了口气，尽量让自己平静下来，然后勉强地迈出一大步。

但是当我叫她的时候，不巧邻班的一个女生也同时和夏实搭话。夏实一瞬间好像有些犹豫，但看了我一眼就转过视线和那个女生边说话边从我眼前走了过去。这一切让我仿佛在看放慢的录像，感到时间过得很慢。

终于我的耳边又传来午休的喧嚷，发现户部在往这边看。我的脸色一定很难看，嘴唇在颤抖，眼眶发热，好象被别人训斥了一顿，不自在地想马上离开。于是冲到窗前往下看，后门和板油路上看不到人的影子。到处被强烈的日光照得褪色，这些酷似贫血时看到的白晃晃的光景。

我装作在寻找外边的同学，一个劲地往楼下看。实际哪有什么朋友！除了夏实，我几乎没有一个可以称作朋友的朋友。

下课后因为参加图书委员的会议，回家晚了点。我磨磨蹭蹭地换好鞋，从校园那边传来足球小组的喊声。已经是九月了，但昨天和今天都热得要命，走进校园一股热流扑来，仿佛要将毛孔烤化，让灵魂流出一半。

运动小组的同学像热带草原的动物一样，换着班的来到饮水处喝水。我也坐在水龙头附近，用视线寻找户部。因为我很在意他看到我和夏实的事。担心没头没脑的户部在大家面前胡说八道。所以想试探他究竟看到了什么。我真不明白那种场面他怎能看得那么平静，想到这些仿佛被捏了把柄，虽然知道不该怪他，但还是觉得挺可恨的。

终于找到了户部。原来他没有和大家一起踢足球，而是一个人在远处擦球。我想起以前他对我说过：“缝足球的线并不结实，一般从接缝的地方开始坏。所以要

经常把粘在上边的沙土去掉，不能想用时候就用，不用的时候什么都不管。”

在操场一个没有树荫的角落，户部默默地弯着身子擦足球。我看了他一会儿，忽然觉得自己的不安是那么渺小和没有意义。于是站起身来到水龙头前，把水拍在脸上。啊！真爽。刚才被烤化流出毛孔的灵魂好像被拉回体内，一张脸又恢复到原样。

用手掌捧着水一次又一次泼在脸上时听到一个脚步声越来越近。谁在身后叫我：“你在干嘛？”是户部，因为这个声音听起来太熟悉了。我擦了把脸转过身来，户部又说：“我一直在想”。我从手巾缝里默默地偷看他，怕他说出我回避的现实。

“我不是说用（恰似）这个词造句吗”

“原来你是提造句的事呀！”

“你听我造的句子-----你觉得我还挺帅的，恰似-----”说到这里户部笑起来。

这家伙把我气得岂有此理！两个人双目相对，然后大笑起来。到了中学以后我们一直没有机会好好说过话，现在才发现本来个子比我矮的户部不知什么时候比我高了许多。我用手巾捂着嘴笑个不停，连眼泪都笑出来了。

回家的路上我绕道去了开着桂花的公园。因为桂花是常绿植物，一年里都长着茂盛的叶子。而且还被修剪成圆形，所以来到树下仿佛进了一个圆顶的房子。夏实和我都非常喜欢这里。并将它定为两个人的“秘密基地”。我们相信这里安全，大树会时刻的保护我们。

即使到了黄昏，阳光还是照的很强烈。来到树下感到凉爽了很多。一位清洁工阿姨看到我停下拔草的手说：“这棵大树很友好吧，大热天为我们遮阳。但是到了初春就要落叶一地，打扫起来挺麻烦的。”

这让我很意外，因为以前一直认为常绿树一年四季都是枝叶茂盛的。于是我问阿姨：“常绿树不是不掉叶子吗？”

阿姨回答：“那怎么会呢。将旧叶子落下才能长出新的叶子啊。如果不那样的

话，即使树木也难活下去。”阿姨的脸虽被帽子遮得严严实实的看不到长得什么样，但笑起来的牙齿很白。她直了直背，拿起扫地的工具向公园对面走去。

我站在树下仰望这棵桂花树。开始西落的夕阳从树叶的间隙洒落下来，仿佛悬在半球宇宙的星星一样闪闪发光。

伸手将口袋里的塑料袋掏出来。小小的花瓣已经缩得更小，而且已经褪色。我把口袋打开，将星状的花瓣啪啦啪啦地撒在地上。也许以后还会和夏实一起来拾花，也有可能和别人一起来。也许以后再也不来拾花了。不管怎样，以后的日子还是要过下去，而且要过好。

我一边想一边走出桂花树。

P124

汉字 2.

练习题：

1. ①有益ゆうえき/有無ゆうむ ②砂糖さとう/土砂どしゃ
③盛夏せいか/夏至げし ④相互そうご/首相しゅしょう
⑤自己じぶん/知己ちき ⑥街灯がいとう/街道かいどう
2. ①難解なんかい ②号泣ごうきゅう ③申告しんこく ④所想しょそう
⑤技巧ぎこう ⑥迫力はくりよく ⑦遮断しゃだん ⑧企画きかく
3. ①見物みもの ②大勢おおぜい ③分別ぶんべつ

5. 让条理清晰

P125

传达给对方的时候要明确根据

目标：

理解笔者的意见和支持意见的根据，分析两者间的关系。

关于文章的构成和展开的效果，明晰条例后深入思考。

课文：有“语言”的鸟（小山雀）

作者：铃木俊贵



1983 年东京都出身。动物行动学者。著作有《鸟类行动生态学》（参与创作）。本文是专为中学国语教材所写。



P126

汉字的发音和中译

咲く頃 开花之际	ひびわた 響き渡る 回响	あたまほほむねはら 頭 頬 胸 腹 头 脸颊 胸 腹	もよう 模様 图案	とくちょう 特徴 特征	ほっかいどう 北海道 北海道
おきなわ 沖縄 冲绳	にほんれっとう 日本列島 日本列岛	ぶんぷ 分布 分布	まちなか 街中 街上	すがたあらわ 姿を現す 露头	みおぼえ 見覚え 记得
みみす 耳を澄ます 侧耳倾听	なごえ 鳴き声 叫声	しゅるい 種類 种类	ひじょう 非常 非常	ほうふ 豊富 丰富	いみ 意味 意思
ぜんたい 全体 整体	けんきゅう 研究 研究	けいしよくき 繁殖期 繁殖期	はこ 運ぶ 搬运	すづく 巣作り 搭窝	まいあさ 毎朝 每天早上
ごうけい 合計 一共	たまごう 卵を産む 下蛋/产卵	きょうりよく 協力 协力	あおむし 青虫 青虫	えき 餌 食/诱饵	こそだて 子育て 育儿
ながのけん 長野県 长野县	かるいざわ 軽井沢 轻井泽	すばこ 巣箱を掛ける 挂鸟窝	ようす 様子 状况	かんさつ 観察 观察	せま 迫る 逼近
むかう 向かう 朝着	おやどり 親鳥 母鸟	せつきん 接近 接近	ひろ 広げる 扩展	いかく 威嚇 恐吓	おそてんてき 襲う天敵 袭击的天敌
あ 挙げる 举例	ろくおん 録音 录音	ぶんせき 分析 分析	けいかい 警戒 警戒	たいしょう 対象 对象	あき 明らか 明显
いみ 意味 意思	つたえる 伝える 传达	ていぎ 定義 定义	しめ 示す 表示	しらべる 調べる 调查	はっ 発する 发出
じょうきょう 状況 状况	かせつ 仮説 假设	たんご 単語 单词	きろく 記録 记录	たしかめる 確かめる 确实	そんざい 存在 存在
あいて 相手 对方	たん 単なる 只是	きょうふしん 恐怖心 恐怖心理	くべつ 区別 区别	ふるまう 振る舞う 装作	くわ 詳しい 详细

おどろ 驚 き 惊奇	もと 基に 为基础	おんせい 音声 声音	さくせい 作成 做成	いちわ 一羽 一只	なが 流す 播放
こうどうへん か 行動変化 行动变化	しゅうへん 周 辺 周围	じめん 地面 地面	み お 見下ろす 俯视	あな 穴 洞	ふだん 普段 平时
こと 異なる 不同	はっけん 発見 发现	くび さゆう 首を左右に 将头左右	ふ 振る 晃动	しゅうい 周围 周围	いばあい 居場合 自己的领地
しんにゅう 侵入 侵入	たまご ひな 卵 や雛 蛋与雏鸟	おそ 襲う 袭击	まも 守る 保护	み つけ だ 見つけ出す 找到	お はら 追い払う 赶走
かくにん 確認 确认	と 止める 停止	おお 大いに 非常	やくだ 役立つ 有用	かんが 考 える 思考	じっけんけっ か 実験結果 实验结果
じゅうぶん 十 分 十分	しゅちょう 主 張 主张	めいれい 命令 命令	こんど 今度 这次/下次	じっさい 実 際 实际	けんしょう 検 証 鉴证
もの みかた 物の見方 事物的看法	どうろ 道路 道路	お 落ちる 掉下	き えだ 木の枝 树枝	だれ さ 誰が指す 谁用手指	おも 思わず 不由得
み かま 身構い 紧张	いっしゅん 一 瞬 一瞬	ほんもの 本物 真的	み まちが 見間違える 看错	しょうこ 証拠 证据	てじゅん 手順 顺序
い かとお 以下通り 如下	こえだ 小枝 小树枝	き みき 木の幹 树干	そ 沿う 沿着	ぶら さ ぶら下げる 吊着	とお 遠く 远处
ゆ 揺らす 晃动	どうよう 同様 同样	に うご 似た動き 相似的动作	かいしゃく 解 釈 解释	さが さい 探す際に 找的时候	とくべつ 特別 特别
けつろん 結論 结论	けんきゅうしゃ 研 究 者 研究者	ながねん 長年 长年	にんげん 人間 人类	いか よろこ 怒り 喜び 喜怒	かんじょう 感 情 感情
あらわ 現れる 出现	できごと 出来事 事件	どうぶつ 動物 动物	かん 関する 有关	しょうさい 詳 細 详细	すす 進める 进行

こんかい 今回 这次	みじか 身近 周围	こどり 小鳥 小鸟	きょうい 脅威 威胁	しんかかてい 進化過程 进化过程	かくとく 獲得 获得
せかい 世界 世界	みりょう 魅了 征服	かよ 通う 去	つづ 続ける 继续	やがい 野外 野外	くあ 組み合わせ 组合
ふくざつ 複雑 复杂	ふくすう 複数 复数	のうりよく 能力 能力	じっしょう 実証 证实	こんご 今後 今后	さか 盛ん 盛行
もっと こうど 最も 高度 最高峰	せいぶつ 生物 生物	き 決めつける 決定			

中译

有“语言”的鸟（小山雀）

在樱花盛开之际，树林里回应着优美的鸟啼声：“叽叽叽，叽叽叽”。声音的主人是“小山雀”日语叫“四十雀”（英文：Parus minor）。外表的特征是黑色的小脑袋，白色的两颊，从前胸到腹部的图案象戴了一条领带，个头和小麻雀差不多。它的生息区域从冲绳到北海道，广泛分布于日本列岛。有时我们能够想起在街道的某个地方见过这种小山雀。

侧耳倾听小山雀的叫声就会发现它的叫声种类很多。有“啾啾”“其其”“叽叽”等。与其他种类的鸟相比，小山雀的叫声种类特别丰富。我认为这些叫声都有它的意思，可以概括为小山雀的“语言”。所以对此进行研究。

小山雀在春天到来之际迎接繁殖期。它们将苔藓^{diào}叼到树洞等筑巢，然后每天早上生一个蛋，最多可以生 6-13 个鸟蛋。雏鸟孵化以后，雌雄山雀协力育儿，它们换班出去捉毛毛虫回到鸟巢为雏鸟喂食。

我们从 2005 年开始，每年去长野县轻井泽町的森林为山雀挂鸟巢，观察山雀繁殖后的样子。2008 年 6 月里的一天，在研究上有了很大的转变。那天我照常去观察鸟巢，正遇到青蛇（日语：青大将）逼近鸟巢捉雏鸟吃。这时母雀接近青蛇，一

边张开双翅^{wēi hù}威吓，一边尖锐地发出“嘘嘘”的叫声。以前我从早到晚来观察它们，却从来没有听过这种声音。除了青蛇以外，来掠夺鸟蛋和雏鸟的天敌还有乌鸦和山猫以及鼯鼠^{yòu shǔ}等。母鸟对这些天敌发出警告时的叫声是“噤-噤-”，但是对蛇的叫声却是“嘘嘘”。我们把这些叫声录音以后用电脑进行分析，它们之间的区别很明显。

我们从这些观察中做了一个假设，山雀“嘘嘘”的叫声是用来警告对象（青蛇）而使用的“单词”。这里的单词是对“青蛇”和“鹰”等不同对象使用不同单词而下的定义。

那么，怎样才能验证小山雀的叫声“嘘嘘”（这个单词）是对青蛇发出的呢？当然要记录发声的状况，但是只记录还不能确定它的意思。不能区分是因为恐怖才这样叫，还是为了告诉伴侣青蛇的存在才这样叫。因此对听到这个叫声的山雀做了详细的调查。因为如果“嘘嘘”的叫声意味“蛇”的话，听到这个声音（单词）的山雀一定会表示出对蛇警戒的反应。

于是，我们把事先录下的“嘘嘘”编成长达 3 分钟的语音文件。用来模仿雄雌山雀中的一方在发现蛇时反复啼叫“嘘嘘”的状态。然后在蛇没有出没的时候用扩音器播放语音文件，观察山雀在行动上的变化。

结果发现当山雀听到“嘘嘘”的叫声后会探头俯视挂着鸟巢的树木周边的地面，有时还会看鸟巢里边表示出与平时完全不同的动作（参考下表 1）。可是当我们播放警戒乌鸦和山猫时的录音“噤-噤-”时，山雀的反应很正常。它们只是将头左右扭一扭警戒周围而已（参考下表 2）。此外不播放录音的时候，山雀就没有任何反应（参考下表 3）。

蛇在袭击鸟蛋和雏鸟的时候是从地面爬到树上入侵鸟巢的。所以母鸟为了保护鸟蛋和雏鸟就要及时发现敌人把它们赶走。因此听到“嘘嘘”的叫声马上确认地面和鸟巢，对母鸟确定蛇的位置是十分重要的。

但是，这个实验结果真的可以确定山雀将“嘘嘘”作为表示“蛇来了”的单词使用吗？也许“嘘嘘”是“确认地面和鸟巢”的意思，听到这个叫声的山雀所采取的行动并没有联想到蛇。

于是我们又做了一个验证，这次是观察听到“嘘嘘”的山雀是否实际联想到

“蛇”。我们人类通常根据从单词得到的印象改变对事物的认识方式。例如，一个树枝掉在路上，如果有人指着它喊：“蛇”的话，周围的人会马上紧张起来。这是因为从单词“蛇”联想到它的样子，一瞬间将树枝看错认为是真的蛇。同样，如果能观察到山雀也有看错的时候，那就可以得到证实山雀从“噓噓”的叫声联想到蛇的证据。

实验的顺序如下。首先将一个 20 厘米长的树枝用绳子拴起，然后将它沿着树干吊起。接着一边用扩音器播放“噓噓”的叫声，一边从远处轻轻拉动树枝模仿蛇正在爬树干的样子（下图）。

结果是，山雀听到“噓噓”的叫声真的接近模仿蛇动的树枝进行确认。此外，播放“噓噓”以外的叫声时，就没有哪只山雀接近树枝（下表 4）。还有我们一边播放“噓噓”的叫声，一边将树枝大幅度的摇晃时，因为这些动作不像蛇，所以山雀们并没有接近树枝。

可见，山雀从“噓噓”的叫声联想到“蛇”爬树的样子。将模仿蛇爬行的树枝误认为是蛇。

从两个实验得出的结果是，山雀听到“噓噓”的叫声联想到“蛇”，并且采取找蛇时有效的特有行动。因此我们可以下结论，对山雀来说“噓噓”作为单词意味着“蛇”。

长年以来在研究者之间相信只有人类才有“语言”。认为动物的叫声“喜”和“怒”只是单纯的感情流露，不是传达事物存在和事件发生的“单词”。因此很长时间没有对动物的叫声进行详细的研究。但是在这次研究中发现我们常见的山雀也有语言。它们用“单词”表示“蛇来了！”还可以用这些单词来告知伴侣，让它们协助驱赶敌人（蛇）。因为能爬树侵入鸟巢的蛇对小鸟来说是特别危险的存在。所以山雀为了保护鸟蛋和雏鸟，在进化过程中获得了表示“蛇”存在的叫声。

我被山雀的世界所吸引，至今每年还去长野县那里的森林继续研究。在长达 15 年之久的研究中发现山雀不但可以区分使用不同的“单词”，还可以将几个“单词”组合起来进行更复杂的交流。实验证实除了人类以外，拥有将“单词”组合能力的生物——山雀还是第一个。今后随着研究动物叫声的机会更加广泛，也许能发现除了山雀以外还有更多动物拥有“语言”。所以我们不要轻易认为人类是最高级的动物。在对动物仔细调查以后，一定会有更多的惊喜和发现。

P144

汉字练习 3

① ^{おんだんか} 温暖化 ^{せいたいけい} 生態系 ^{じゅもく} 樹木 ^{しげん} 資源

② ^{たびかさ} 度重なる ^{たいふう} 台風で ^{なえ} 苗の ^{しゅっか} 出荷が ^{おく} 遅れる

^{さかいない} 境内に ^{じゅれいせんねん} 樹齢千年の ^{すぎ} 杉がある

^い 入り ^{えちか} 江近くの ^{みせ} 店で ^{うみ} 海の ^{さち} 幸を ^た 食べる

^{さいさん} 細菌について ^{けんきゅう} 研究する

^{そら} 空に ^{うつく} 美しい ^{にじ} 虹が ^か 架かる

^{なっとう} 納豆は ^{だいず} 大豆を ^{はっこう} 発酵させて ^{つく} 作る

③ ^{ひろう・ひがん} 披露/彼岸 ^{けんま・まさつ} 研磨/摩擦 ^{かんきょう・かんげん} 環境/還元 ^{こうさ・こうてい} 黄砂/肯定

^{そうにゅう・せいそう} 挿入/清掃 ^{ばいしん・ばいたい} 陪審/媒体 ^{ちゅうかい・ちゅうしゃ} 仲介/駐車

P150

詩: ^{おおあそ} 大阿蘇 (熊本县阿蘇市竹原)



注释：

诗中的“中岳”是“阿蘇五岳”中的一个，也是其中最活跃的火山。“艸千里滨”（草千里滨）是可以广角瞭望中岳的大草原，中央处有山丘，东西处有水池。是放牧的良所。此诗描写了牧马的风景。

作者：



みよし たつじ
三好達治

1900 年－1964 年大阪府出身。善于在继承传统诗形式的同时，表达现代式的抒情。著作有《测量船》《一点钟》《花篮》《我骑在骆驼背上》。

原文：^{おおあそ}「大阿蘇」

^{あめ なか うま}
雨の中に馬がたつてゐる

^{いっとうにとう こうま}
一頭二頭仔馬を^{うま む}まじへた馬の群れが ^{あめ なか}雨の中にたつてゐる

^{あめ しょうしょう}
雨は蕭蕭と降つてゐる

^{うま くさ}
馬は草をたべてゐる

^{しっぽ せなか たてがみ}
尻尾も背中も鬣も ^ぬぐつしよりと濡れそぼつて

^{かれ くさ}
彼らは草をたべてゐる

^{くさ}
草をたべてゐる

あるものはまた^{くさ}草もたべずに きよとんとしてうなじを^た垂れてたつてゐる

あめ ふ 雨は降つてゐる しょうしょう 蕭蕭と降つてゐる

やま けむり 山は煙をあげてゐる

なかだけ いただ 中 嶽の頂きからうすら黄ろい 重つ 苦し 噴煙が 濛 々とあがつてゐる

そら あまぐも 空いちめんの雨雲と

やがてそれはけぢめもなしにつづいてゐる

うま くさ 馬は草をたべてゐる

くさせんりはま 艸千里浜のとある丘の

あめ あら 雨に洗はれた青草を 彼らはいつしんにたべてゐる

たべてゐる

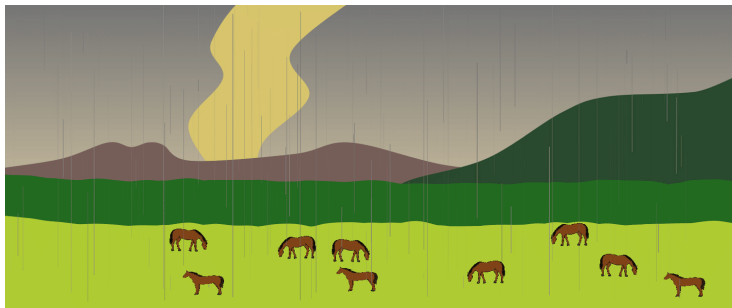
かれ 彼らはそこにみんな静かにたつてゐる

ぐつしよりと雨に濡れて いつまでもひとつところにかれ 彼らは静かに集つてゐる

もしも ひゃくねん 百年が この いっしゅん 瞬間の 間に たつたとしても なん ふ し ぎ 何の不思議もないだらう

あめ ふ 雨が降つてゐる あめ ふ 雨が降つてゐる

あめ しょうしょう ふ 雨は蕭蕭と降つてゐる



中译

大阿苏山

（作者：三好達治）

雨中站着马儿
一头二头的小马交杂在马群中 站在雨中
外边下着潇潇细雨

马儿吃着草
马尾和背上还有鬃毛都被雨淋湿了
但它们还是在雨里吃着草
默默地 默默地有的马没吃草 在雨中消沉地垂着头
雨还在下 潇潇地下
山上冒着云雾
从“中狱”山顶蒙蒙地冒出浅黄色的浓雾
和整个空中的云雾融为一体
渐渐扩散到没有边界

马儿吃着草
在“艸 cǎo 千里滨”的一个山丘上
它们在一丝不苟地吃着 被雨水洗净的青草
默默地 默默地

它们都静静地站在那里
被雨淋湿 却静静地聚集在同一个地方 很久很久
如果百年的时间在这一瞬间错过 我们都不会有任何质疑
雨还在下 潇潇地下
外边下着潇潇细雨



6. 去理解往昔的精神

阅读古文，思考古代与现代的联系。

歴史的仮名遣い（古典假名的读法）

读古典假名的时候有以下规定。

(1) 語頭以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」

語頭（単語の頭）以外の「は・ひ・ふ・へ・ほ」（ハ行）は、「ワ・イ・ウ・エ・

オ」と読むのが原則である（これを^{はぎょうてんこ}ハ行転呼という）。

かは（川）→ カワ

こひ（恋）→ コイ

おもふ（思ふ）→ オモウ

うへ（上）→ ウエ

おほし（多し）→ オオシ

「は・ひ・ふ・へ・ほ」が語頭にあるときは、そのまま「ハ・ヒ・フ・ヘ・ホ」と読む（例、はな（花）→ ハナ）。

(2) 「ゐ・ゑ・を」

「ゐ・ゑ・を」は、「イ・エ・オ」と読む。

ゐなか（田舎）→ イナカ

こゑ（声）→ コエ

をとこ（男）→ オトコ

(3) 連母音の長音化

ア列音（-a）・イ列音（-i）・エ列音（-e）に「う」が続く場合は、次のように読む。

連母音の長音化

・ア列音（-a）＋「う」→オ列長音（-o u）

（例）^{ma}ま うす（申す）→ ^{mo u}モ ウス

・イ列音(-i) + 「う」 → 「Oユウ」(-y u u)

(例) うつく^{s i}しう(美しう) → ウツクシ^{s y u u}ュウ

・エ列音(-e) + 「う」 → 「Oヨウ」(-y o u)

(例) て^{t e}うづ(手水) → チ^{t y o u}ョウズ

※「あう」は「オウ」、「いう」は「ユウ」、「えう」は「ヨウ」になる。

次の例のように、「う」の代わりに「ふ」が続く場合も、同じようにして読む。

(「ふ」は語頭にないので、(1)のルールによって「う」に置きかえる。)

^a
あふぎ(扇) → あうぎ → オウギ

^{k i}
きふ(急) → きう → キュウ

^{k e}
けふ(今日) → けう → キョウ

(4) 「くわ・ぐわ」

「くわ・ぐわ」は、「カ・ガ」と読む。

くわし(菓子) → カシ

えいぐわ(栄華) → エイガ

(5) 「ぢ・づ」

「ぢ・づ」は、「ジ・ズ」と読む。

もみぢ(紅葉) → モミジ

めづらし(珍し) → メズラシ

(6) 助動詞などの「む」

助動詞「む・むず・けむ・らむ」や助詞「なむ」などの「む」は、「ン」と読む。

いかがはせむ → イカガワセン

梅咲かなむ → ウメサカナン

これらの「む」は、「ん」と表記されることもある。

P153 いろは歌

解释：“いろは歌”是一篇将“47个字的假名”各用一遍写成的短诗。请反复阅读只用假名的原文和翻写为汉字和浊音的混合文，习惯古文的节奏和含义。

いろはにほへと ちりぬるを （色は匂えど 散りぬるを）
わかよたれそ つねならむ （我が世誰ぞ 常ならむ）
うるのおくやま けふこえて （有為の奥山 今日越えて）
あさきゆめみし ゑひもせず （浅き夢見じ 酔いもせず）

原文【いろはにほへと ちりぬるを】 现代文『花は咲いても散ってしまうのに』

注释：昔の人は花が咲くことを「色が匂う」と言いました。その花は、日本人が愛してやまない「桜の花」のことです。きれいに咲いても必ず散る桜の花びらに、人々は人生を重ね「無常」を感じるからこそ、愛されるのではないかと思います。
中译“樱花盛开又落了”

【わが世誰ぞ つねならん】 『永遠に同じ姿でこの世に居続ける人も物もない』

「我が世」とは「私たちの住む世界、この世の中」であり、「誰ぞ」は「誰がいるだろうか」という意味です。

又有谁能一直活在世上呢

【うゝのおくやま きょうこ】

『つらく・きびしく・険しい人生という山を今日も一つ乗り越えて』

「有為」とは「愛とか憎しみといった形のないものまで含めてこの世に存在する全てのもの」という意味です。

今日翻过艰险的人生之峰

【あさ ゆめみし すいゑ】

『酔っ払っているかのように、真理から目を背け、はかない夢を見ないように』
「浅き夢」とは眠りの浅い時に見る夢のことであり、『はかない夢』のことです。

不要借着酒意进入虚幻的梦想

蓬莱の玉枝-来自—《竹取物语》（青竹公主的故事）—

目标：注意假名的读法，通过接触古文韵律来欣赏古典的世界。
阅读时请注意登场人物之间的关系。

出典：

《竹取物语》是现今日本最古老的故事。来源于民间传说，平安时代初期被记录下来。作者不明。平安时代的名作《源氏物语》中将此称为“故事之祖”。原文部分来自《新编日本古典文学全集》。

简略版—《竹取物语》（青竹公主的故事）—



むかしむかし、竹^{たけ}を取^とって暮^くらしているおじいさんがいました。

ある日の事、おじいさんが竹やぶに行くと、根元^{ねもと}が光^{ひか}っている不思議な竹^{ふしぎ たけ}を見つけた。

「ほほう、これはめずらしい。どれ、切^きってみようか。えい！ ……うん？ これは！」

おじいさんがその竹を切ってみると、なんと中には小さな女の子がいたのです。

子どものいないおじいさんとおばあさんは、とても喜^{よろこ}びました。

そしてその子を『かぐやひめ』と名^なづけて、大^{たい}切^{せつ}に育^{そだ}てたのです。

かぐやひめは大きくなるにしたがって、とても美しくなりました。

そして年頃になると、

「どうか、かぐやひめをお嫁さんにください」と、若者がたくさんやってきまし

た。中でも特に熱心な若者が、五人いました。みんな、立派な若者です。

でも、かぐやひめは、お嫁に行くつもりはありません。

そこでかぐやひめは、困ってしまい、

「では、私が言う品物を持ってきて下さった方のところへ、お嫁に行きましょう」

と、言って、世にも珍しいと言われる品物を一人一人に頼みました。

很早很早以前，有一位靠砍竹为生的老爷爷住在山里。

有一天，老爷爷去竹林看到有一株根部闪闪发光的奇特的竹子。

老爷爷说：“啊！这可真少见呀，我来砍砍看。欸！这是什么？”

老爷爷将竹子砍开，看到里边有个小女孩。

老爷爷和老奶奶没有孩子，他们看到女孩高兴极了，给她取名叫“かぐやひめ”（青竹公主/辉夜姬），并将她像个小公主一样好好养大。

一年又一年过去了，青竹公主长成了一个美丽动人的姑娘。到了该出嫁的年龄，有好多年轻人前来求婚，让老爷爷和老奶奶把女儿嫁给他们。这些人里有5个小伙子特别热心，而且很优秀。

但是，青竹公主并不想嫁人。于是她绞尽脑汁想出了一个办法，让他们5个人按照她的吩咐去寻找世间神奇的物品。



(1)

車持皇子は、「蓬萊の玉の枝」を持ってくるように言われる。「蓬萊の玉の枝」は、蓬萊の山にあるという、銀の根、黄金の茎、白き玉の実を持つ枝のことである。3年後、車持皇子は「蓬萊の玉の枝」を持参し、披露した時には鏡で反射させた光を当てさせる。難波より船出して蓬萊山を目指し、荒波に飲まれて食べ物もなくなる艱難辛苦の末に蓬萊山にたどりつき、山を登って手に入れたと熱弁を振るう。だが、「蓬萊の玉の枝」を作らせた職人が代金の請求に現れたために偽物であることが発覚する。



蓬萊の玉の枝

蓬萊の玉の枝とは古典文学『竹取物語』に登場したアイテム。または東方projectのキャラクターである蓬萊山輝夜の所持する宝、及...
ビクシブ百科事典

首先，青竹公主让“车持皇子”去找“蓬莱玉枝”。听说在蓬莱山上有种树，它长着银根、黄金的枝条上结着白玉的果实。3年后，车持皇子拿来“蓬莱玉枝”用镜子反射的光照在上边给公主看。还强调说他寻宝之路的辛苦，从难波启航前往蓬莱山，途中小船险些被暴风淹没，没有食物经历了千辛万苦才到达目的地，爬山拿到了玉枝。但是就在他雄辩之时，一个工匠跑来向他索要“蓬莱玉枝”的制作费，大家才发现原来眼前的玉枝是假的。

(2)

阿部右大臣は、「火鼠の皮衣」を持ってくるように言われる。「火鼠の皮衣」は唐土にあると言われる宝物で、火にくべても決して燃えず、汚れだけが焼け

落ちて炎の中で輝きを放つという。3年後、阿部右大臣は「火鼠の皮衣」を持参する。かぐや姫から火にくべてみるように言われ、戸惑いながらも火にくべると「火鼠の皮衣」は燃えてしまう。



青竹公主又让“阿部右大臣”去找“火鼠皮衣”。“火鼠皮衣”是中国的宝物。穿着它通过熊熊大火也不会烧着，反而污垢被烧掉，皮衣在火中闪闪发光。3年以后阿部右大臣拿来“火鼠皮衣”。青竹公主让他将皮衣放在火里试一试，大臣为难地将皮衣放在火里，结果被烧成了灰。

(3)

石作皇子は、天竺に伝わるという「仏の御石の鉢」を持ってくるように言われる。全国の自社を探し求めたものの見つからず、ふと足元に咲く蓮華の花を見て大切なのかぐや姫を思う真心と気づいたと語る。かぐや姫の心に響くが、石作皇子は甘い言葉で多くの女性をたぶらかしてきたことが明らかになる。



青竹公主又让“石作皇子”去找天竺“佛祖（释迦牟尼佛）的石碗”。石作皇子说他找遍了全国的神社都没有找到，但是看到脚下开的紫云英醒悟道：“最宝贵的是爱公主的这颗心”。青竹公主听他这样讲虽然很高兴，但是马上提醒自己甜言蜜语的男人是不可相信的。

(4)

おおばんだいごん ごしき かがや りゅう くび たま も
大伴大納言は、五色に輝くという「龍の首の珠」を持ってくるように言われ
る。せん さが しゅっぱつ あらし ま こ さんざん め りゅう
船で探しに出発するものの、嵐に巻き込まれて散々な目にあった上に「龍
の首の珠」は見つからない。



青竹公主又让“大伴大納言”去找“五彩龙首珠”。船出发以后遇到风暴，经历了千辛万苦还是没有找到龙珠。但是在失去财产以后，大纳言懂得自己和伙伴的性命是最重要的。

(5)

いしがみちゅうごん あんざん まも つばめ こやすがい も
石上中納言は、安産の守りにもなるという「燕の子安貝」を持ってくるよう
に言われる。のき す て の いしがみちゅうごん じめん お
軒にあるツバメの巣に手を伸ばした石上中納言は地面に置かれた
カメのうえ うえ あたま お こし ほね お げんいん な
カメの上に頭から落ちて腰の骨を折る。このケガが原因で亡くなってしまう。



最后，青竹公主让“石上中納言”去找象征安产的“燕贝”。“石上中納言”将手伸到屋檐下的鸟雀时不小心一头栽在下面的缸上断了腰骨，因此还丧了性命。

五人の若者はそれぞれに大冒険をしましたが、かぐや姫の望んだ品物を手に入れた者は一人もいませんでした。

なんとか五人の若者を追いついたかぐや姫ですが、かぐや姫のうわさはとうとうみかどの耳にも入りました。

「ぜひ、かぐや姫を后(きさき)に欲しい」

みかどの言葉を聞いたおじいさんとおばあさんは、大喜びです。

「素晴らしいむこさんじゃ。これ以上のむこさんはない」

お嫁にいくつもりのないかぐや姫は、何とか断ろうと思いましたが、みかどに逆らえば殺されてしまうかもしれません。

五位男士都去尝试了大冒险，但是谁都没有拿到青竹公主想要的东西。青竹公主想方设法回绝了他们以后，这段传闻最后传到了天子耳中。天子说：“我一定要娶青竹公主为妻”，老爷爷和老奶奶听到这个消息十分高兴：“太好了！没有比天子更好的女婿了！”。但是不想嫁人的青竹公主还是想拒绝这门婚事，但是回绝天子就等于丧命。



それ以来、かぐや姫は毎晩毎晩悲しそうに月を見上げては泣いていました。ある日、おじいさんとおばあさんが心配してわけをたずねると、かぐや姫は泣きながら言いました。

「実は、わたくしは月の世界のものです。今まで育てていただきましたが、今度の満月の夜には月へ帰らなくてはなりません」

それを知ったみかどは、満月の夜、何千人もの兵士を送ってかぐや姫の家の周りを守らせました。何とかして、かぐやひめを引きとめようとしたのです。

けれど真夜中になって月が高くのぼると、兵士たちは突然ねむってしまいました。

かぐや姫はその間に、月の使いの車にのって月に帰ってしまいました。

その事を知ったおじいさんもおばあさんもみかども、とても悲しんだと言うことです。

おしまい

从那以后，青竹公主每晚都仰望着月亮哭啼。有一天，老爷爷和老奶奶担心地问她怎么了？青竹公主哭着说：“我原是月上仙女，受父母大人养育之恩不曾回报，但在下个圆月之夜必须返回月上。”

得知此情的天子在圆月之夜派遣千万兵士守护在青竹公主家的四周，试图阻止公主返回月亮。但是到了半夜月儿当空的时候，士兵们突然打起了瞌睡。借此机会，青竹公主坐上御史遣来的御车返回月亮。老爷爷和老奶奶以及天子知道此事以后非常难过。

完



P158 课文:

汉字

ねもと 根本 根部	ふしぎ 不思議 不可思议	ちかよ 近寄る 接近	せたけ 背丈 个子	さいこ 最古 最古	ぼうとう 冒頭 开头
さず 授かる 有孩子	かがや 輝く 闪闪发光	ねっしん 熱心 热心	きゅうこん 求婚 求婚	ことわ 断り 拒绝	じさん 持参 拿来
なんだい 難題 难题	しなん 至難 再难不过	あきら 諦める 放弃	いど 挑む 挑战	けいかく 計画 计划	ひとめ 人目 被别人看
かくう 架空 不存在	ぼうけんだん 冒険談 冒险故事	いつせつ 一節 一节	たなん 多難 多难	こうかい 航海 航海	とくい 得意 骄傲
さくりやく 策略 策略	きけん 危険 危险	しっぱい 失敗 失败	そな 備える 准备	きゅうちゅう 宮中 公众	わけ たず 訳を尋ねる 问原因
ちゅうしゅう 中秋 仲秋	めいげつ 名月 明月	つか 遣う 派遣来	てんにん 天人 天上之人	ふし 不死 不死	のぼ 昇る 升上
へんじ 返事 回答	ししゃ 使者 使者	むりよく 無力 无力			

中译

蓬莱玉枝-《青竹公主》节选

已经是很久以前的事了。有个叫“取竹翁”的老爷爷到野外和山里砍竹子，然后拿回来做成各种各样的物品。取名叫“讚岐（香川）造”。有一天老爷爷看到竹林里有一棵竹子的根部闪闪发光。他觉得很奇怪。于是接近竹子仔细看，发现竹筒里很亮，还坐着一个很可爱的只有三寸（约 10 厘米）大小的女孩。

以上是流传在日本最古老的传说《竹取物语》的开头部分。之后的故事情节是这样的。

老爷爷得到孩子很高兴，小心翼翼地把她放在筐子里养大。孩子成长的速度惊人，只 3 个月就出落成一个大姑娘了。她艳丽秀美，把周围衬托得格外明亮。因此被称为“辉夜姬/青竹公主”。

美丽的青竹公主名扬在外，有很多青年赶来求婚。公主无法拒绝其中 5 位特别热心的公子求爱，只好对每个人都提出一个难题，能够拿来她希望得到的物品才能结婚。青竹公主想得到的都是一些难以到手的物品。即使这样 5 位求婚者还是不死心，各自利用自己的智慧或财力来对公主提出的难题进行挑战。

其中有一个叫“车持皇子”的人告诉大家他去寻找“蓬莱玉枝”。实际他只是将船开出港口，但马上就开回来实行原来的计划，避开人们的视线躲在家里。以后的三年时间与造玉的工匠一同起居饮食，做了一个假玉枝。然后他装作刚刚下船的样子来到老爷爷家，向大家讲起虚构的冒险故事。

下段就是皇子讲述的冒险故事其中的一部分。经历了千辛万苦的航海以后好不容易才找到蓬莱山时的经历。

“这就是我梦寐以求的山吧！”想到这里心中既高兴又感到恐惧，于是花了两三天的时间在山周围环视地理环境。这时一个穿着仙女衣装的姑娘走出山，用一个银碗打水。我看到她就下船赶上前去询问：“这座山叫什么名字？”姑娘回答：“叫蓬莱山”。听她这样说我很高兴了。

再看这座山艰险无比，不知怎样才能爬上去。等我们绕到山坡脚下，发现那里竖立着几棵在这个世间从未见过的树。金，银，琉璃色的水从山中缓缓流出，形成一架五彩缤纷的玉桥。在桥的旁边有几棵闪闪发光的树。

我想不能与公主所说的有半点差错，所以把玉树中最美的一个枝条折来献给公主。

正在“车持皇子”得意地讲谎话的时候，造玉的工匠赶来控告皇子让他们白白工作了 3 年之久还没付工钱，今天要给个公道。皇子的阴谋就这样被揭穿了。

其余四个求婚者，有的伤了大财，有的冒险负伤，没有谁能找来公主需要的物品。他们的求婚到此失败了。

不久以后，当时的天子得知有位赢得人心的美丽公主，一定要将她迎入宫中。但是传她入宫多次都被公主拒绝了。

这样又过了3年。从那年初春开始，青竹公主经常望着月亮伤心落泪。直到秋季，老爷爷和老奶奶看到她更加悲伤憔悴，忍不住问其缘由何在。公主流着泪告诉他们：“孩儿本是月上仙女，有所缘由来到人间。但在八月十五的夜里必须返回月亮”。

不久到了中秋明月之夜，天子命令两千士兵前来老爷爷家保护公主。但是他们在天将面前却是束手无策。青竹公主将自己的衣物留给老爷爷和老奶奶，将天将拿来的“长生不老药”转交天子，并给他们写下告别的信，在人们的感叹中飞回月亮。

天子接到公主的“长生不老药”感叹道：“没有公主的这个世界，朕又何曾留恋许久呢！”于是问：“哪座山离天最近？”有个人告诉他：“骏河之国”（静岡県中部）的山离京城不远，而且离天最近。天子听此立刻派人来到那座山上。

天子命令使者将“长生不老药”和公主的信摆在山顶，然后用火烧尽。使者听从命令率领众多兵士登山完成这个任务。从此将那座山取名叫“富士山”（富有兵士攀登之意的山-富士山）。据说当时的烟雾今日依然在云中环绕。



保留至今的成语故事

目标:

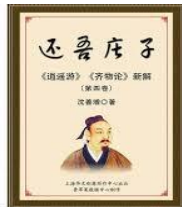
朗读汉文，熟悉它独特的音律和含义。

理解和思考故事成语，并与自己的生活相结合。

出典：教材《矛盾》/上文出典于《韩非子/下》（新释汉文大系 12）

关联知识:

- ① 《韩非子》是法家学派的代表著作，共二十卷。韩非（约公元前 280～233 年），战国时期韩国人，学于荀子^{xún}，喜好刑名法术之学，为法家学派代表人物。
- ② 荀子^{xún}（约前 313 年-前 238 年）战国晚期赵国人，思想家、哲学家、教育家、儒家学派的代表人物，先秦时代百家争鸣的集大成者。
- ③ 孟子（前 372 年-前 289 年），与孔子并称“孔孟”，战国时期邹国^{zōu}（今山东邹城）人。战国时期儒家思想代表人物之一，中国古代思想家、哲学家、政治家、教育家。
- ④ 庄子（约公元前 369 年—约公元前 286 年），名周，战国中期思想家、哲学家、文学家，道家学派代表人物，与老子并称“老庄”。
- ⑤ 老子（约公元前 571 年—约公元前 470 年），姓李名耳，春秋时期人。出生于楚国。中国古代思想家、哲学家、文学家和史学家，道家学派创始人和主要代表人物，与庄子并称“老庄”。在唐朝，被追认为李姓始祖。曾被列为世界文化名人，世界百位历史名人之一。
- ⑥ 孔子（公元前 551 年 9 月 28 日—前 479 年 4 月 11 日），名丘，字仲尼，春秋时期山东省曲阜市人。中国古代思想家、政治家、教育家，儒家学派创始人。



汉字发音

ゆらい 由来 由来	しょもつ 書物 书籍	めいくめいげん 名句名言 名句名言	とだ 取り出す 取出	ざゆうめい 座右の銘 座右铭	いんよう 引用 引用
こ 超える 超过	いき 息づく 呼吸（活着）	れきしてき 歴史的 历史性	じじつ 事実 事实	こじ 故事 故事	はいけい 背景 背景
むじゅん 矛盾 矛盾	すいこう 推敲 推敲	だそく 蛇足 画蛇添足	しめんそか 四面楚歌 四面楚歌	せいご 成語 成语	もと 基 基础
かた 堅い 坚硬	とおす 通す 穿过	ほこたて 矛・盾 矛/盾	たず 尋ねる 寻问	こた 答える 回答	

原文：

其 人 弗 能 應 也 。
 陷 子 之 楯 、 何 如 ？
 「 以 子 之 矛 、
 或 曰 、
 於 物 無 不 陷 也 。
 「 吾 矛 之 利 、
 又 嘗 其 矛 曰 、
 莫 能 陷 也 。
 「 吾 楯 之 堅 、
 嘗 之 曰 、
 楚 人 有 鬻 楯 与 矛 者 。



訓読文：

● 国語名作集(漢文)		本文/白文へ	
【鑑賞】	り。	【現代語訳】	矛盾
	其の人応ふること能はざるな		
	子の盾を陥さば、何如。」と。		
	或ひと曰はく、「子の矛を以て		
	陥さざる無きなり。」と。		
	が矛の利きこと、物に於いて		
	又其の矛を誉めて曰はく、「吾		
	なり。」と。		
	盾の堅きこと、能く陥す莫き		
	り。之を誉めて曰はく、「吾が		
	楚人に盾と矛とを鬻ぐ者有		
	り。之を誉めて曰はく、「吾が		

現代語訳：

楚の国の人^{そ くに}が盾^{ひと たて}と矛^{ほこ}を売^うっている。之^{ゆき}（盾^{たて}）を自慢^{じまん}して言うには、「私^{わたし}の盾^{たて}の堅^{かたさ}さはつき通^{とお}すもの^なが無^ない^なくらいだ。」と。また、その矛^{ほこ}を自慢^{じまん}して言うには、「私^{わたし}の矛^{ほこ}の鋭^{するど}さはどんなもの^なでもつき通^{とお}せないもの^なは無^ない^なくらいだ。」と。

ある人^{ひと}が言うには、「あなた^{ほこ}の矛^{ほこ}で、あなた^{ほこ}の矛^{ほこ}をつき通^{とお}そうとすればどうなるか。」と。その人^{ひと}（楚人^{そにん}）は答^{こた}えることが出来^{でき}なかった。

中文《自相矛盾》：

楚国有一个卖兵器的人，到市场上去卖矛和盾。好多人都来看，他就举起他的盾，向大家夸口说：“我的盾，是世界上最最坚固的，无论怎样锋利尖锐的东西也不能刺穿它！”接着，这个卖兵器的人又拿起一支矛，大言不惭^{cán}地夸起来：“我的矛，是世界上最尖利的，无论怎样牢固坚实的东西也挡不住它一戳^{chuō}，只要一碰上，马上就会被它刺穿！”他十分得意，便又大声吆喝起来：“快来看呀，快来买呀，世界上最坚固的盾和最最锋利的矛！”这时，一个看客上前拿起一支矛，又拿起一面盾牌问道：“如果用这矛去戳这盾，会怎样呢？”“这——”围观的人先都一愣，突然爆发出一阵大笑，便都散了。那个卖兵器的人，灰溜溜地扛着矛和盾走了。

7. 发现价值

转换思维，重新认识身边事物新的一面。

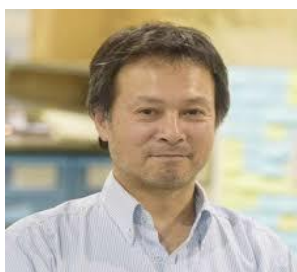
课文：重新看待“不便”的价值

目的：提取需要的信息来总结文章的内容。

总结作者的主张，持有自己的思想。

作者：川上浩司

1964 年出生于岛根县，工学博士，系统工学专业。著作有《从不便中诞生的设计》《对不起！如果你感到人生走到了尽头，请借助“不便”的力量吧。不便是有益的思想》等。课文为本教材创作。



汉字练习

ふべん・べんり 不便/便利 不便/方便	かち かん 価値観 价值观	み 見つめ 直す 見 重新认识	たず 尋ねる 询问	ば あい 場合 情况	じっさい 実際 实际
よ なか 世の中 世间	て ま 手間 麻烦	ちょうし 調子 类型	せんもん 専門 专业	き かい 機械 机械	せつけい 設計 设计
こうぎょう 工業 工业	ぶん や 分野 领域	ついぎゅう 追求 追求	ゆた 豊か 丰富	まよ 迷う 猶豫	ふくざつ 複雑 复杂
たんじゅんか 単純化 单纯化	じ どう か 自動化 自动化	こうりつか 効率化 效率化	こうきのうか 高機能化 高功能化	すす 進める 推行	かい は つ 開発 开发

そうぞう 想像 想象	けんきゅう 研究 研究	ほ 欲しい 想要	ぎもん 疑問 疑问	しょう 生じる 产生	すべて 全て 全部
たしか 確か 确实	らく・たの 楽/楽しい 轻松愉快	そくめん 側面 另一面	いちよう 一樣 一样	つづ 続ける 继续	はっそう 発想 想法
ちやくもく 着目 注意	みす 見過ごす 错过	える 得る 得到	えき 益 利益	いかす 生かす 活用于	とらかた 捉え方 理解为
ぶんせき 分析 分析	ぎろん 議論 议论	ろうりょく 労力 劳力	の 述べる 叙述	いっばん 一般 一般	わるい/よい 悪い/良い 坏/好
してん 視点 视点	ぐたいてき 具体的 具体的	ぼうとう 冒頭 开头	と 問い 問題	な 投げかける 提出	じれい 事例 事例
あつ 集める 收集	はじ 初め 开始	ていぎ 定義 定义	つた 伝える 传达	いか 以下 以下	いどうほうほう 移動方法 移动方法
ちてん 地点 地点	もくてきち 目的地 目的地	とほ 徒歩 徒歩	の 乗り物 交通手段	ひかく 比較 比较	たと 例えば 例如
じかん 時間 时间	つか 疲れる 疲劳	すわ・の 座る/乗る 坐/乘坐	りょこう 旅行 旅行	この 好む 喜欢	きづ 気付かない 没有觉察
とおす 通り過ぎ 走过	たちよ 立ち寄り 顺便到	けしき 景色 景色	であ 出合い 邂逅	ふだん 普段 平时	だいがく・つうがく 大学/通学 大学上学
なんど 何度 几次	たず 訪ねる 访问	きい 気に入り 喜爱	とちゅう 途中 中途	みち 道のり 路程	はっけん 発見 发现
きかい 機会 机会	ひろ 広がる 扩大	ふため 二つ目 第二	しせつ 施設 设施	だんさ 段差 阶梯	あしこし 足腰 腰腿
ふじゆう 不自由 不自由	くるまいす 車椅子 轮椅	ふきゅう 普及 普及	さか 坂 坡路	かいだん 階段 楼梯	もう 設ける 设置

ふ 増える 増加	こくふく 克服 克服	おく 送る 送/过	にゅうきょしゃ 入居者 入住者	しんたいのうりよく 身体能力 身体能力	こうじょう 向上 进步
こうじょう 工場 工厂	せいさんほうしき 生産方式 生产方式	せいひん 製品 制品	だいひょうてき 代表的 代表性	ぶんぎょうがた 分業型 分担制	くみ ^た てる 組み立てる 组合
かくさぎょうしゃ 各作業 者 每个工人	たんとう 担当 担任	く ^{かえ} 繰り返す 重复	かぎ 限られる 有限于	おぼ 覚える 记住	てじゅん 手順 工序
ひかくてき 比較的 比较	かる ^{・おも} 軽い/重い 轻/重	ふたん 負担 负担	しょうにんずう 少人数 人数少	ふくざつ 複雑 复杂	さいご 最後 最后
まるごと 全都	ぜんたい 全体 整体	みわた 見渡す 看周围	くふう 工夫 下功夫	よ ^ち 余地 余地	たか ^め 高める 提高
ぎじゅつりよく 技術力 技术能力	あつ 集める 收集	せいり 整理 整理	うか ^あ 浮び上がる 浮现出	おも ^{つぎ} 主に次の 主要是其次	あ ^げ 挙げる 举出
ものごと 物事 事物	たっせいかん 達成感 成就感	たいりよく・ちりよく 体力/知力 体力/智力	い ^じ 維持 维持	こうじょう 向上 向上	うなが ^す 促す 催促
からだ・あたま 体/頭 身体/头部	しぜん 自然 自然	ていか 低下 降低	ふせ 防ぐ 防止	いよく 意欲 意欲	こうか 効果 效果
とく ^く 取り組み 计划	な ^と 成し遂げ 成功	ふくすう 複数 复数	ふく 含まれる 包含	こてい ^{かんねん} 固定観念 固定观念	む ^{ひはん} 無批判 不批评
み ^お 見落とす 错过	えら 選ぶ 选择	し ^ま 知らぬ間 不知不觉	ほんらい 本来 本来	よろこ ^び 喜び 喜悦	うし ^な 失う 失去
はつき 発揮 发挥	うば 奪う 夺去	ごかい 誤解 误解	ひてい 否定 否认	むかし 昔 过去	もど ^る 戻る 回到
にんしき 認識 认识	つく ^だ 創り出す 造出	さんどう 賛同 赞同	な ^{かま} 仲間 伙伴	うんでん ^{しえん} 運転支援 支援开车	あ ^{かた} 在り方 应有的姿态

かんこう 観光	し かけ 仕掛け	ていあん 提案	いや・きら 嫌/嫌い	めんどろ 面倒	じつ 実は
观光	设计	建议	讨厌	麻烦/照顾	实际
かく 隠れる	じょうしき 常識	こと 異なる	べつ してん 別の視点	せ かい 世界	た よう 多様
隐藏	常识	不同	别的角度	世界	多样

中译：

《重新看待“不便”的价值》

你是否觉得“不方便很好？”

如果我这样问别人，对方大概会露出“奇怪”的表情。如果说“方便很好”谁都可以理解，那么说“不方便很好”是怎么回事？怎么可能有不方便才好的事呢？这样想是因为我们的价值观里存在“方便=好”“不便=不好”的想法。实际这个世界到处都有赞美方便的事物。我们看电视和因特网播放广告的时候，看到的都是一些宣传“不麻烦，真便利！”“会更加便利”的广告。

我的专业是机械设计和工业设计，即使在这些领域也长久持续着追求便利的大目标。一直认为节省时间和精力，追求便利才能使人们的生活变得更加丰富多彩。为了让使用的人不花费时间和精力，使用时不需要去困惑和思考，使用方法繁琐的商品被不断地简略化，自动化，效率化和高性能化。因此谁都不会想象去特意开发一些比以前更麻烦的东西了。

我原先是做有关设计自动化的研究。脑子里经常想如果有什么想要的东西，要是发明一种电脑能自动帮我们设计就好了。但是有一天在我的脑海里产生了这样一个疑问：“如果实现了全自动化确实很棒。但是相反我们会失去自己思考得来的成就感，更不会有技术上的进步。那真的是能让人们生活丰富多彩的设计吗？”确实便利带有解放人类劳动的一面，而且真正需要它的场合也不少。但是如果一味的去追求便利，我们的生活和社会真的可以变得富有吗？现在也许需要追求便利以外的新想法了。

就是从这个想法为出发点，我发现了以前没有注意过的“不便的价值”。将它

叫做正是因为不便才能得到的利益“不便益”。每天都在研究怎样将这个想法运用在新的设计中。

我们再来评价一下“不便”到底指什么？只用一个词“不便”的话，人们会对这个词语产生不同的理解。那么就不能充分地进行分析和讨论，因此在这里就将做事所需的劳力称为“不便”吧。也就是说“花费时间和精力，需要动脑的事=不便”，“不需要花费时间和精力，不用动脑的事=便利”。

如以上所述，一般认为“方便=好”“不便=不好”（图 1.）但是我并不这样认为。并不总是“方便=好”“不便=不好”，而是“方便中有好也有坏”，“不便里也有好和坏”。这样会产生一个新观念：“不便的好处”和“便利的坏处”（图 2.）

那么“不便的好处”具体是讲什么呢？我很久以来一直向很多人问过这个问题，收集“不便的好处=不便益”的事例。开始人们都会露出奇怪的表情，但是当我向他们说明“不便”的定义和事例以后，很多人将自己“不便益”的事例告诉了我。以下就是我收集的一部分“不便益”的事例。

第一个是关于移动手段的事例。比较一下从某个地点到目的地的移动手段：“使用交通工具和徒步移动”的区别。例如坐出租车和步行，步行的话不但需要时间，而且很累（=不便）。相比之下，乘坐出租车的话，只要告诉司机你的目的地，只需坐在车里就能到达（=方便）。但是旅行的时候会有很多人不选择坐车，喜欢徒步。因为坐出租车的话，会不知不觉的错过很多景点。徒步的话，就能随意到某个景点享受与人和景物邂逅的乐趣。再看一下平时骑摩托车上学的大学生，因车坏了不得已徒步上学的例子。有了这个徒步的机会，大学生遇到自己以后常去，特别喜爱的商店。也就是说不便的优点是正因为有途中的这个路程，才扩大了邂逅和发现的机会。

第二个是设计机构的事例。关于机构的设计，去除台阶的“无台阶”设计是被广泛采纳的手法。“无台阶”设计对腿脚不灵活或需要坐轮椅，推婴儿车的人来说是必不可少的设计方法。当然全社会能普及“无台阶”设计是很理想的。但是一部分养老院却特意利用和设置台阶或坡路以及楼梯等。因为有了“台阶”能提高入住者的体力。在日常生活中随时克服“障碍”，这些实践能防止入住者身体能力的下降。同样一些幼儿园在庭院特意实施“凹凸”设计，这些能“防止身体能力下降”“提高身体能力”的思维都可归为“不便益”的效果。

第三个是工厂生产方式的事例。工厂制作商品时使用具有代表性的两个生产

方式：“流水线生产方式”和“单独生产方式”。“流水线生产方式”是“分工型”，需要组装的零件被放在运输带上不断在眼前通过，每个工人反复重复自己担当的工作（图 2. ①）因为需要重复的工作有限，所以需要记住的工序和工作量比较少，工人的负担比“单独生产方式”要轻很多。相反，“单独生产方式”是一个人或者几个的工人将复杂的制品从开始做到完成。（图 2. ②）工作内容比“流水线生产方式”样式多而且很复杂，所以每个工人的负担较重。但是因为能够自力将一个产品自始至终地组装，不但可以观望整体，还留有自己下功夫的余地。这些既能提高工人的积极性，还能提高自身的技术能力。

这样我整理了一下事例，何为“不便益”就从中渐渐地浮现出来。虽然现在还处于整理过程，但可以提出主要的以下几点。

首先可以说成功地做好事物，它所需要的时间和过程越长，各种发现和邂逅的机会就越多。其次，这些会促使和维持体力和智力的进步。因为使用自己的身体和大脑会自然地防止体力和智力以及技能的低下，使其能够得到进步和发展。此外，“不便”还有提高人们意欲的效果。正因为有自己思考和下功夫的余地，工作起来的积极性被提高，成功时的成就感就越大。还有，往往一个事例中包含着几个“不便益”。例如不坐出租车选择徒步的话，不但有更多的发现和邂逅，而且能够防止运动能力的低下。

这些“不便益”正因为“不便”才获取了“利益”。所以，如果被“方便=好”“不便=不好”的固有概念所束缚，无条件地单纯选择“便利”的话，就会错过“不便”带来的价值。进一步的说，如果我们在“方便=好”的思想影响下，整个社会都去追求“便利”的话，每个人甚至会丧失选择两者的权利，在不由自主之间失去本来可以获得的快乐和喜悦，丧失发挥自己能力的机会。

不想让大家误解的是我并没有否认便利，也没有提倡大家回到过去不便的生活，更没有将不便完全美化的想法。“不便益”的思想是在认识到“不便”才能带来的利益，在此基础上创造新的设计。现在赞同此思想的伙伴们在各个领域开始新的研究并提出新的建议，例如汽车运行支援的方法和团体观光的计划准备等。

“不便益”不但被活用在设计事物上，在日常生活中也可以利用这个想法。在你每天的生活中如果遇到“讨厌不便”“怕麻烦”而去回避的事情，实际其中也许隐藏着新的发现和乐趣。只要你站在与以往的常识不同的角度来看问题，世界就会显得更加丰富多彩。你的周围有哪些“不便益”呢？让我们再次关心生活的点点滴滴吧！

8. 观察自我

面对生活和作品，加深对事物的看法。

课文：少年时代的回忆（《蝴蝶》）

作者：赫尔曼·卡尔·黑塞（德语：Hermann Karl Hesse；1877年7月2日—1962年8月9日）德国的诗人、小说家和画家。1946年获诺贝尔文学奖。主要作品有《彼得·卡门青》《在轮下》《悉达多》《荒原狼》《东方之旅》《玻璃球游戏》等。



汉字

おも　で 思い出 回忆	しょさい 書齋 书房	こしか 腰掛け 坐下	おか　きし 丘・岸 山丘/岸边	ふちどり 縁取 轮廓	すえ　おとこ　こ 末の男の子 小儿子
おきな 幼い 年幼	しゅうかん 習慣 习惯	しゅうしゅうか 収集家 收藏家	あつがみ 厚紙 厚纸	はこ　と 箱を取る 拿盒子	す 擦る 擦燃
やみ　しず 闇に沈む 消失于黑暗	ふとうめい 不透明 不透明	と　閉ざす 关上	ひか　かがや 光り輝く 闪闪发光	みごと 見事 很美（好）	なが 眺める 看着
ようじんぶか 用心深い 非常小心	はね　うらがわ 羽の裏側 羽毛背面	みょう 妙 奇怪	ようねんじだい 幼年時代 幼年时代	ねつじょうてき 熱情的 热情的	さ 刺す 扎
けっこう 結構 不用了	ふゆ　かい 不愉快 不愉快	くちはや・はやくち 口早/早口 说的很快	ちよくご 直後 之后	びしょう 微笑 微笑	ま　たばこ 巻き煙草 烟卷

ぞんねん 残念	は 恥ずかしい	りよくしよく 緑 色	うすぐら 薄暗い	まど ふち 窓の縁	は まき 葉巻
可惜	害羞	绿色	有些暗的	窗框	香烟
かんだか 甲高い	いちめん 一面	な 鳴く	とくべつねっしん 特別熱心	ゆうぎ 遊戯	と 採る
高声	一片	鸣叫	特别热心	游戏	采取
とう とけい 塔の時計	きゅうか 休暇	どうらん 胴乱	か ある 駆け歩く	おそ 襲われる	むすう 無数
塔钟	休假	乱揣怀里	跑去	受袭击	无数
しゅんかん 瞬 間	かわ 乾く	こうや 荒野	ひるさ 昼下がり	しんびてき 神秘的	たから さが 宝 を探す
瞬間	干	荒野	午后	神秘的	寻宝
あみ も 網を持って	まち ぶ 待ち伏せ	めずら 珍しい	こきゅう 呼吸	あ げ 下 げ 上げ下げ	はんでん 斑点
拿着网	等候	少有	呼吸	上下	斑点
す とお 透き通る	みやく しよつかく 脈・触角	きんちよう 緊張	かん き 歓喜	びみょう 微妙	はげ 激しい
透明	脉纹/触角	紧张	欢喜	微妙	激烈
い まじ 入り交る	りっぱ どうぐ 立派な道具	りょうしん 両 親	びん せん 瓶の栓	きばこ 木箱	しょうばこ 飼養箱
掺入	精致的工具	双亲	瓶塞	木箱	饲养箱
せつび 設備	じまん 自慢	じゅうだい 重 大	ひょうはん 評 判	はつけんもの 発見物	えもの 獲物
设备	显示	重大	评论	发现的东西	猎物
てんし 展翅	なかにわ 中庭	むすこ むすめ 息子・娘	ひ う 非の打ち	あくとく 悪徳	きみわる 気味悪い
展翅	里院	儿子/女儿	无可挑剔	无德	肉麻
せいしつ 性質	ひんじやく 貧 弱	せいかく 正確	て い 手入れ	いた 傷む	こわ 壊れる
性格	不稀罕	正确	整理	受伤	坏掉
つ あ 継ぎ合わせ	ぎじゆつ 技術	こころえ 心得	も はんしょうねん 模範少 年	ねた にく 妬み・憎む	たんしょう 嘆 賞
连接	技术	学会	模范少年	嫉妒/憎恨	感叹称赞
せんもんか 専門家	かんでい 鑑定	みと 認める	げんきん 現金	ね う 値打ち	ね ふ 値踏み
专家	鉴定	承认	现金	价值	降价

なんくせ 難癖	けっかん けってん 欠陥・欠点	ひひょうか 批評家	ぜっちょう 絶頂	れきし か 歴史家	こうふん 興奮
坏毛病	缺欠/缺点	评论家	绝顶	历史家	兴奋
なかま 仲間	さしえ 挿絵	ねつれつ 熱烈	いくど 幾度	かた 語る	みき いわ 幹や岩
伙伴	插图	热烈	几次	说	树干和岩石
てき こうげき 敵が攻撃	まえばね ご わ 前羽・後羽	ふ し ぎ 不思議	がいかん 外觀	てい 呈する	おそ 恐れる
敌人攻击	前后羽毛	不可思议	外观	呈现	害怕
て だし 手出し	まち き 待ち切れる	がいしゅつ 外出	こ 越える	へ や と 部屋の戸	うらや 羨ましい
出手	等待	外出	越过	房间的門	羡慕
とちゅう 途中	たど つ 辿り着く	へんじ 返事	れい 例の	かみ き 紙切れ	け は 毛の生える
途中	达到	回答	那个	纸片	长毛
あかちいろ 赤茶色	ゆう が 優雅	は 果たしなく	ようもう 羊毛	まぢ か 間近	ゆうわく 誘惑
赤褐色	优雅	无限的	羊毛	就近	诱惑
ま 負ける	と ばり 留め針	さか 逆らう	よくぼう 欲望	ぬす おか 盗みを犯す	ひ ば 引っ張る
输	用针钉住	反抗	欲望	行盗	拉扯
まんぞくかん 満足感	み ぎ て 右手	ひだりて 左手	かく 隠す	かいだん 階段	りょうしん 良心
満足感	右手	左手	隐藏	楼梯	良心
め ぎ 目覚める	とつぜん 突然	げれつ 下劣	さと 悟る	どうじ 同時に	おそ 恐ろしい
醒来	突然	卑鄙	觉悟	同时	可怕
ふ あん 不安	ほんのうてき 本能的	ふる 震える	じょちゅう 女中	す ちが 擦れ違う	がく 額
不安	本能的	颤抖	女佣	擦肩错过	额头
た と 立ち止まる	なにごと 何事も	で 出くわす	きょくど 極度	いそ 急いで	ひ かえ 引き返す
站住	什么事都	遇到	极度	急忙	回来
か あ 駆け上がる	ふ こう 不幸	つくろ 繕う	くる 苦しめる	はね こな 羽の粉	ころ 転がる
跑上去	不幸	缝	痛苦	羽毛的粉末	掉

な だ 投げ出す 抛出	かま 構う 管/理会	いっさい 一切 一切	う あ 打ち明ける 告白	ゆうき 勇気 勇气	おどろ き 驚き 惊奇
こくはく 告白 告白	ばつ 罰 惩罚	もう で 申し出る 说出	ぜんぜん 全然 完全	たず 尋ねる 寻问	たの 頼む 求
どりよく 努力 努力	あと 跡 痕迹	みと 認める 看到/承认	たんねん 丹念 仔细地	す と かみ 吸い取り紙 吸水纸	なお 直す 修正
くわ せつめい 詳しく説明 详细说明	こころ 試み 尝试	した な 舌を鳴らす 咋舌	れいたん 冷淡 冷淡	い ぜん 依然 依然	けいべつ 軽蔑 轻蔑
と あつか 取り扱い 使用	のどぶえ 喉笛 咽喉	と か 飛び掛かる 扑上去	あつかん 悪漢 坏人	だいひょう 代表 代表	れいぜん 冷然 冷然
せいぎ たて 正義を盾 以正义为盾	ののし 罵り 骂	いちど 一度 一次	つぐな 償い 赔偿	ね ほ は ほ 根掘り葉掘り 刨根问底	かま 構わず 不顾
おそ じこく 遅い時刻 时间很晚	しょくどう 食堂 食堂	しんだい 寝台 餐桌	ゆび こなごな 指で粉々 用手指	お 押しつぶす 碾成粉末	

中译/张佩芬

《蝴蝶》

我的客人和朋友亨利希·莫尔已自黄昏散步后归来，我们并坐在沐浴着最后日光的书房里。窗外，银色的湖水延伸得很远，周围线条分明地镶着丘陵状起伏的河岸。因为我的小儿儿子刚和我们道过晚安，我们的话题便扯到了儿童以及孩提年代的往事。

“自从我有了孩子之后，”我开言道，“我又恢复了自己童年时代的某些嗜好。大

概一年前我甚至重新开始收集蝴蝶标本。你想看看吗？”

他很想看，我便走出去取来两三只很轻的厚纸板盒。当我打开第一只盒子时，我们才注意到天色已昏暗，连撑开的蝴蝶翅膀轮廓也难以分辨了。

我擦着一根火柴点亮了灯，瞬间窗外的景色便消失得无影无踪，但见一片深不可测的浓浓蓝色。

我的蝴蝶却在明亮灯光的照耀下显得华丽异常。我们弯下身子观察着它们色彩缤纷的美丽形体，叫出它们的名字。

“那只是黄色彩裳蝶，”我说，“拉丁文名字是 Fulmina，在这里很罕见。”

亨利希·莫尔小心翼翼地连插针从盒子里取出一只蝴蝶，观看着翅膀的下侧。

“真奇怪，”他说，“没有什么东西比看见蝴蝶时更能强烈勾起我对童年的回忆了。”

他说完又把蝴蝶插在原处，随手关上了盒盖。“我看够了！”

他说得如此干脆，好似这场回忆令他很不愉快。当我拿开盒子，重新回到房间时，他那狭长的棕色脸庞上却已露出笑容，还要了一支香烟。

“请你一定别生我的气，”他解释道，“我没有仔细看你的收藏。我少年时代当然也有这类收藏，可惜我自己把本该美好的回忆败坏了。我现在就可以向你叙述这一往事，尽管事情很可耻。”

他在灯上点燃了香烟，装好绿色的灯罩，让我们的脸笼罩在一片朦胧之中，随后便坐到打开窗户下的壁炉架前，使自己瘦骨^{lín xún}嶙峋的手指的^{lín xún}动作在昏暗中不会显得太突出。当我接着也点燃一支香烟，窗外传来远处青蛙充盈整个夜空的响亮歌声时，我的朋友讲述了下列故事。

我在八岁或者九岁的时候开始收集蝴蝶标本，最初并没有特别着迷，就像对待任何其他游戏和爱好一样。但是到了第二年夏天，那时我大概十岁光景，却对此着了迷，几乎到了如痴如醉的地步，以致多次受到警告，要禁止我收集蝴蝶，因为我

完全忘记和耽误了一切别的事情。只要我在捉蝴蝶，我就听不见教堂钟声，不管是唤我去学校或者唤我吃午饭，每逢假期我常常在专供采集标本的罐头里搁上一块面包，从清晨到黑夜在户外呆上一整天，根本想不到回家吃饭。

我现在看见特别漂亮的蝴蝶时，偶尔还能稍稍感受到当年的热情。于是那一瞬间我的内心便又充满了如饥似渴不可名状的喜悦，那是唯有孩子才能够感受得到的，就像我当年潜近我那第一只黄凤蝶时的感觉。于是我便又猛然想起了孩提时代无数次捕捉蝴蝶的光景，在干燥的、散发着浓烈香味的原野里的炎热下午，在花园里的凉爽清晨，或者黄昏时分在充满神秘气息的森林边缘，我举着捕蝶网守候在那里，就像一个掘宝人，随时随刻准备着惊喜若狂。当我看见一只漂亮的蝴蝶时，倒不在乎它是否特别稀罕，只要它停在阳光下的花朵上，彩色的翅膀呼吸般一张一合，捕猎欲就使我一下子透不过气来，当我向它潜近又潜近，直到能够看清每一块闪光的彩色斑点，每一条透明的脉络和每一根纤细的棕色触须和茸毛，那是一种紧张和狂喜的感觉，一种混合着柔和的喜悦与狂暴的欲望的感觉，我后来在生活中极少再产生过这种感觉。

我父母都很穷，不可能送给我任何像样的盒子，我不得不把自己的收藏都保存在一只普通旧纸板箱里。我把玻璃瓶塞切成圆片粘在箱底，用来插针，我的宝藏就在四堵可怜的硬纸板墙内受着保护。最初我很乐意并且常常把我的收藏拿给同伴们欣赏，但是别人有的拥有带玻璃盖的木箱，有的拥有带绿色金属网隔断的盒子以及其他各式各样的高级容器，以致我后来羞于再展示我那简陋寒碜的设备。当年我还算安分知足，甚至捕捉到了激动人心的重要品种也能够保持沉默，只把猎物拿给妹妹看。有一次我捕获了一只在我们这一带非常罕见的蓝色席勒蝴蝶，并做成了标本，当它干透之后，我忍不住那份自豪感，决定至少得向我的一个邻居显示一下。他是一个教师的儿子，就住在我们院子对面。这个少年有一种“没有缺点”的毛病，这毛病在我们孩子身上显得更加可怕。他的收藏既少又不重要，他却能通过对它们可爱之处的精心维护而变成一份宝藏。他甚至还掌握很少有人会的高难技艺，能把破碎损坏的蝴蝶翅膀胶补完整。他在任何方面都是一个模范孩子，我因而怀着半是忌妒半是钦佩的心情十分憎恨他。

我向这位模范少年展示了我的席勒蝴蝶。他以专家姿态鉴定了这只蝴蝶，承认其确属稀有品种，判定它值二十芬尼左右。这个叫艾米尔的孩子通晓一切收集行当，无论是邮票还是蝴蝶，他都懂得给它们估价。随后他便开始批评，认为我的蓝蝴蝶标本制作很糟，右触须太弯，左触须又太直，他也正确地发现了蝴蝶的缺陷，说这只蝴蝶少两条腿。事实上我并不很在意它的缺点，然而这个净找岔子的人却多少败坏了我获得席勒蝴蝶的喜悦，后来我就再也不向他展示我的猎物。

两年以后，我们都已经是“大男孩”了，而我对蝴蝶的热情依然如火如荼，这时传开了艾米尔捕捉到一只天蚕蛾①的消息。当年这则消息对我引起的激动远远胜过今天我听说一个朋友得了一百万遗产，或者是寻得了李维乌斯②湮没已久的书籍。我们这批人还没有哪个捉到过天蚕蛾，尤其我仅仅在一本介绍蝴蝶的老书里见过图片而已。这本书归我所有，其中的手绘铜版画在我眼中较之一切现代彩印画不仅美丽无数倍，而且也更为精确。我久仰其名，而我的收藏里尚缺的蝴蝶品种中，我最热烈渴望得到的就是天蚕蛾。我常常凝视着书里的图片出神，一个小伙伴曾经向我叙述说：当一只棕黄色的天蚕蛾停在树枝上或者岩石上，而一只鸟儿或者其他天敌想要扑食它时，它仅仅敞开折叠在一起的颜色较深的前翅膀，把美丽的后翅完全展露给对方，翅膀上巨大明亮的眼睛③显得那么古怪，那么出乎意料，往往把鸟儿吓跑，蝴蝶便安然无恙。

①译者注：天蚕蛾是一种大型蝴蝶的总称，种类极多，分布在世界各地。

②译者注：李维乌斯（Titus Livius），古罗马历史学家。

③译者注：天蚕蛾翅宽，翅中央常有一眼斑，照本文中的描写，这只棕黄蝴蝶当为刻克罗普斯蚕蛾，尤其具有独特的新月形大眼斑。德语“天蚕蛾”（Das Nachtpfauenauge）一词，直译便是“黑夜里的孔雀眼”。

这么美妙的蝴蝶居然让最乏味的艾米尔获得了！我听到这则消息时一刹那的反应是欣喜，终于可以亲眼目睹这一罕见的动物，可以满足我火烧火燎的好奇欲望了。接着当然是忌妒和愤懑，为什么恰恰要让这个无聊家伙、这条哈巴狗捕捉到充满神秘气息的无价之宝呢。可是我极力克制自己，决不给他荣耀，决不跑到对面去请求参观。然而我满脑子只有这件事。第二天，当我听说的传闻在学校里获得证实后，便立即作出决定，我还是去吧。

饭后，一有机会溜出家门，我便急急穿过庭院，直奔邻居家的三层楼。在女仆住房用木板隔断的旁边，那位教师的儿子拥有一间常常使我不胜羡慕的独用小房间。一路上我没有碰见任何人，我敲敲小房间的门，里面没有人应声。艾米尔不在家，我按了一下门把手，发现门没锁，以往他却是一出去就把门锁得牢牢的。我走进去，至少得看看那稀有动物啊，我立即奔向艾米尔保存宝藏的两只巨大木箱。两只箱子里都没有，我便想，那只蝴蝶可能还绷在制作板上。它果然在那里，棕色的翅膀用薄薄纸片绷得紧紧的，天蚕蛾还悬在木板上呢。我朝它弯下身子，近得不能再近地观察它的全身，一对毛茸茸的浅棕色触须，有着无比优雅细致色彩的翅膀边缘，较下面那对翅膀的内缘有娇柔的卷曲绒毛。然而我恰恰找不到那些眼睛，它们被纸片遮没了。

我的心剧烈跳动着，试图揭走纸片，便拔出了插针。我立即瞧见了那四只巨大的奇异眼睛，其美丽和奇妙远远胜过书里的图片，就在这一瞥间我萌生了一种非得占有这只惊人动物的不可抗拒的欲望，于是我毫无^{chóu hù}踌躇地进行了生平第一次盗窃行为。我轻轻拔出插针，把那只业已干燥和模样完好的蝴蝶藏在手窝里跑出了房间。我当时一派心满意足，没有丝毫其他的感觉。

我右手藏着那只蝴蝶走下了楼梯。这时我听到有人正向上走，脑子转瞬间清醒了，我猛然意识到自己偷了东西，是一个卑鄙小人，与之同时，一阵害怕被发现的惊吓^{hài}骇人地向我袭来，以致本能地把握着猎物的手藏进了外套口袋。我走得很慢，浑身颤抖着，心里有一种道德败坏和耻辱的冰冷感觉，在与走上楼梯的女仆照面时显得十分惊慌。我心虚气短、满头大汗地在大门口站了一会儿，已经完全不知所措，被自己的行为吓坏了。

随即我便明白，我不能够，也不允许我拥有这只蝴蝶，我必须把它送回原处，并且尽可能做得好像没发生过任何事。于是我转过身子，虽然满心害怕撞见人和被人发现，我重新急匆匆地跃上窄窄的木梯，一分钟后就又进了艾米尔的房间。我小心翼翼地口袋里抽出右手，把蝴蝶放到桌子上，在我再度瞧它之前心里已预感到发生了不幸，几乎失声痛哭，果然这只天蚕蛾被我毁坏了。它丢了右前翅膀和右触须，而当我试图轻轻地把断裂的翅膀从口袋取出时，它完全碎了，无法设想还能加以修补。

此时此刻，偷窃行为对我内心的谴责远远逊于目睹如此美丽稀罕的动物被自己亲手所毁的痛苦。我望着自己还满沾着棕色翅膀上细小粉尘的手指，望着桌上破碎的翅膀，只要能够让它恢复原样，我甘愿付出自己拥有的一切，包括牺牲自己的欢乐。

我悲伤地回转了家，整个下午都闷坐在我们的小花园里，直到黄昏时分我终于有勇气向母亲讲述一切。我清楚地观察到她确实很震惊，很伤心，但是她必然认为，我决心供认这一事实就比让我忍受任何惩罚都更有价值。

“你得去艾米尔家，”她果断地说，“同他当面讲清楚这件事。这是你唯一能够做的事情，倘若你不去，我决不会原谅你。你可以向他建议，请他从你的收藏中挑选任何别的东西作为补偿，你必须请求他原谅。”

要我向任何另外一位小伙伴道歉都比向这个模范少年请求原谅更容易忍受些。我首先切切实实感觉他不会理解我，因而多半不会相信我，当时是黄昏时分，将近黑夜了，我想就不去了吧。然而我母亲来大门口找到了我，轻声劝说：“今天就把这件事办了，现在就去吧！”

我跑到对面，先在楼下打听艾米尔是否在家。他来了，立即就告诉我不知什么人弄坏了他的天蚕蛾，究竟是个坏小子所为，还是一只鸟儿或者一只猫儿作祟，他也说不准。我请他带我上楼去看看那东西。我们一起上了楼，他关上房门后点亮一支蜡烛，我望见标本制作板上躺着那只毁坏的蝴蝶。我知道他已经下过功夫修复，那只断裂的翅膀小心地排在一张浸湿的吸墨纸上，当然是无法完全补救的，那根触须也仍断缺着。

我便告诉他，是我干的坏事，并试图向他叙述和解释事实真相。

艾米尔没有狂怒起来，没有对我叫喊，而只是轻轻地从牙齿缝里吹着口哨，只是缄默无语地瞪着我好一忽儿，然后说：“啊，啊，那么你就是那个家伙。”

我表示愿意以我的所有玩具作补偿，当他仍然冷冷站着，始终轻蔑地瞪着我时，我建议他接受我的全部蝴蝶标本。而他却说：

“谢谢啦，我对你的收藏很熟悉。今天倒是又让我开了眼界，知道你是怎么对待蝴蝶的。”

这一瞬间我差点儿跳过去扼住他的咽喉。现在我已无事可干，我只得永远是一个小无赖了。艾米尔始终冷冷地站着，像个维持世界秩序的正义代表鄙视着我。他没有对我发脾气，他只是瞪着我，鄙视着我。

我这才开始领悟到，事情已无可挽回，弄坏了就永远是坏的了。我跑回家，母亲没有盘问我，而是吻了我一下，叫我休息，使我心里很欣慰。对我而言时间已经很晚，我得上床睡觉了。睡前我偷偷去餐厅拿了那只棕色大纸箱，我把纸箱搁到床上，在黑暗中打开了它。随后我从中取出蝴蝶，一只接着一只，用手指把它们捏得粉碎。

学习汉字 5

① 砂糖さとうを用意よういし、冷蔵庫れいぞうこの牛乳ぎゅうにゅうと卵たまごを使つかってプリンぷりんを作つくります。

② 菜箸さいばしで料理りょうりを器うつわに盛もりつける。

喫茶店きっさてんでケーキたを食べる。

美味おいしい抹茶matchaをいただく。

ピザを専用せんようの窯かまで焼やく。

熟じゅくれたトマトと豆腐とうふを買かう。

運動うんどうで脂肪しぼうを燃焼ねんしょうさせる。

③ 試行しこう錯誤さくご

奇想きそう天外てんがい

大胆だいたん不敵ふてき

变幻へんげん自在じざい

全身ぜんしん全霊ぜんれい

首尾しゅび一貫いっかん

P216

散文二篇

目标：

阅读时要注意表达事物和情感的语句和表达方式，培养自己的语感。
以场面的展开和描写为基础，理解作者思想和心情。

作者：

工藤直子，1935 年台湾朴子市出生、诗人·儿童文学家。作品有《哲学的狮子》、《完全喜欢》等。本文出典于《狮子的尾巴》。

散文一



《天空》

选择住在北陆的深山里，可能是因为小时候很憧憬雪国的原因吧。那里的村落只住着二十几户人家，我们在那里借了一间空房住下来。

第一个冬天是在大雪埋没门前中度过的。有一天外出时，外边飘舞着雪花。明明周围都下着雪，但是异常的明亮。我感到奇怪，于是仰望天空。。。。。。天上没有沉重的乌云，是一片清澈的蓝天。

啊！这就是人们说的“雪花”（日语：风花）吗？我站在雪中仰望天空。正因为冬季的晴空是那么深远，所以才产生了如此洁净的雪花。很久很久，雪花源源不断地从高空飘舞而下，让我眼花缭乱。天空的蓝色被洁白的雪衬托着，蓝得不能再蓝，我从来没有见过这么美丽的“蓝天”。

散文二



《远方》

如果整理一下自己难忘的某句话或者某个词的时候，在古老的记忆里一定会浮现出“远方”这个单词。

大概在四五岁的时候，有两三年的时间我是和父亲两个人一起生活的。只有两个人的世界，我总是缠在下班回来或者休息在家的父亲身边，即使在家里也跟在父亲的后边寸步不离。

早晚一起去散步成了每天的习惯，那是多么幸福的时刻啊！父亲缓慢平稳的氛围环绕着我，有种被保护的安全感。父亲穿着和服，我只要扯着他的下摆或者握住他伸给我的食指就感到紧握电车吊带似的没有什么可怕的了。

父亲是小学校长，要参加一些学校之间的会议。有时当天要去出差，在家里缠着他的我当然看得出父亲与平时不同。这时的他仿佛被包在一层透明的薄膜里，开始整齐地穿上带着防虫剂气味的西装。于是我的呼吸急促起来，每次都要问：“爸爸你去哪儿啊？”。

父亲总是回答：“去远方”。这时的父亲一边看着上方，一边像唱着歌似的重复着“远方，远方。。。”样子很帅很帅。这是非日常的一刻，我是那么羡慕不能被带走的那个“远方”。也从心里热切希望什么时候一定去那个灿烂诱人的“远方”。

注释：“远方”的日语发音是“^{えんぽう}遠方（en pao）”

汉字练习

ずいひつ 随筆	にへん 二編	ほくりく 北陸	やまおく 山奥	あこが 憧れる	すうけん 数軒
散文	两篇	北陆	深山	憧憬	几家
しゅうらく 集落	あや 空き家	さいしょ 最初	う 埋もれる	す 過ごす	いちめん 一面
村落	空房	最初	埋没	度过	一片
こゆき 小雪	まお 舞い下りる	あた 辺り	みょう・へん 妙/変	あか 明るい	みあ 見上げる
小雪	落下	周围	奇怪	明亮	仰望
はいいろ 灰色	おもくも 重たい雲	ぬ 抜ける	あおそら 青い空	かざはな 風花	あ 浴びる
灰色	乌云	清澈	蓝天	雪花	淋浴
ふかこ 深く濃い	ましろ 真っ白	うだ 生み出す	さいげん 際限	めまわ 目が回る	ひきた 引き立てる
深浓	雪白	产出	无限	头晕	衬托
わす 忘れる	ことばぐん 言葉群	ふるきおく 古い記憶	あらわ 現れる	く 暮らす	じき 時期
忘记	一群单词	古老的记忆	出现	生活	时期
しふく 至福	けはい 気配	あんしん 安心	きものすがた 着物姿	きだ 差し出す	でんしゃ 電車
无比幸福	氛围	放心	穿和服	伸出	电车
つりがわ 吊革	こわ 怖い	こうちょう 校長	かいぎ 会議	ときどき 時々	ひがえ 日帰り
吊带	可怕	校长	会议	有时	当天回来
しゅつちょう 出張	ちが 違い	みの 見逃がす	とうめい 透明	まく 膜	くる 包まれる
出差	不同	放过	透明	薄膜	包
にお 匂い	ようふく 洋服	きはじ 着始める	いきせわ 息が忙しい	かならず 必ず	おな 同じ質問
气味	西装	开始穿	呼吸急促	一定	同样的问题
こたえ 答え	かえ 返す	てんじょう 天井	なが 眺める	うた 歌う	くかえ 繰り返す
回答	还	天棚	望着	唱	反复
ひにちじょうてき 非日常的	つ 連れる	は 晴れやか			
非日常的	带我	容光焕发			

学习汉字 6

① 例：彼は^{かれ}支持^{しじ}する^{せいとう}政党^{りっこうほ}に立候補^{くに}し、国^{ほうりつ}の法律^{けいざい}と経済^よを良くすると約束^{やくそく}した。

② 収^{しゅう}穫^{かく}の遅^{おく}れが商^{あきな}いに支^{ししょう}障^{きた}が来^きす。

かばんを^さ提^{ぼうてい}げて法^む廷^{てい}に向^むかう。

貨^か幣^{へい}の歴^れ史^{きし}に興^{きょう}味^みを持^もつ。

速^{すみ}やかに大^{だい}臣^{じん}を更^{こう}迭^{てつ}する。

文^{ぶん}化^か勲^{くん}章^{しょう}を授^{さず}ける。

虚^{きょ}偽^ぎの報^{ほう}告^{こく}を見^みつけ^る。

③ 腰^{こし}を据^すえる。(落^おち着^ついて事^{こと}に当^あたる。腰^{こし}を落^おち着^{ちつ}ける)

琴^{さん}線^{せん}に触^ふれる。(感^{かん}動^{どう}や共^{きょう}鳴^{めい}を与^{あた}えること)

太^{たい}鼓^こ判^{ばん}を押^おす。(人^{じん}物^{ぶつ}や品^{しな}物^{もの}の質^{しつ}が絶^ぜ対^{たい}によいものであると保^ほ証^{しょう}すること)

寸^{すん}暇^かを惜^おしむ。(少^すし^{こし}の空^あき時^じ間^{かん}も無^む駄^だにせ^ぜず、何^{なに}かに没^ぼ頭^{とう}する)

二^にの足^{あし}を踏^ふむ。(思^{おも}い切^きって物^{もの}事^{ごと}を進^{すす}めることができないさま)

耳^{みみ}を澄^すます。(聞^きこ^うとして注^{ちゅう}意^いを集^{しゅう}中^{ちゅう}する)

額^{ひたい}に汗^{あせ}する。(汗^{あせ}を流^{なが}して仕^し事^{ごと}に励^{はげ}む。一^{いっ}生^{しょう}懸^{けん}命^{めい}に仕^し事^{ごと}をする)

目标:

读诗的时候要理解表达手法的种类和效果。
体会诗的语言和表达，思考作者的想法。

作者:

まど・みちお、日本诗人。作词家。原名石田道雄。1909-2014 年，山口县出身。
著作有《辣辣天普罗》《植物的歌》《道雄儿歌集》，本诗出典于《道雄全诗集》。

诗:

《さくらの はなびら》 えだを はなれて ひとひら さくらの はなびらが じめんに たどりついた いま おわったのだ そして はじまったのだ ひとつの ことが さくらに とって いや ちきゅうに とって うちゅうに とって あたりまえすぎる ひとつの ことが かけがえのない ひとつの ことが	《樱花的花瓣》 一个花瓣 离开樱树的枝条 樱花的花瓣 到达地面 结束了它的使命 又开始了新的生命 这件事 对于樱花来说 不不，对于地球 对于宇宙来说 都是理所应当的 一件事 虽然它是多么 不可代替的一件事啊！
---	---

汉字练习

① いずみ みず て あら
泉の水で手を洗う。

つくえ すんぽう はか
机の寸法を測る。

きゃべつ きざ さら も
キャベツを刻んで、皿に盛る。

よろこ われ わす
喜びのあまり我を忘れる。

おさな こ せ お
幼い子を背負う。

たまご ぎゅうにゅう ま
卵と牛乳をかき混ぜる。

じけん さまざま してん すいり
事件を様々な視点から推理する。

せんもんか いけん ぞんちょう
専門家の意見を尊重する。

フランス けんぽう にほんご やく
フランスの憲法を日本語に訳す。

さむ へ や まど し
寒いので、部屋の窓を閉める。

え ど ばくふ しょうぐん しら
江戸幕府の将軍について調べる。

が か えんじゆく きょうち いた
画家が円熟の境地に至る。

にほんぶんがく だいひょう めいちょ ろうどく
日本文学を代表する名著を朗読する。

せかい しゅうきょう ぞんざい
世界にはさまざまな宗教が存在する。

うらやま さりかぶ こし か
裏山の切株に腰を掛ける。

ひ と て いしつぶつ しょぶん
引き取り手のない遺失物を処分する。

りこてき こうどう み はら た
利己的な行動を見て腹を立てる。

まんにん かんしゅう しゅうよう きょうぎじょう
5万人の観衆を収容できる競技場。

あな なか くら きけん
穴の中は暗くて危険だ。

り か じゅぎょう のう もけい み
理科の授業で脳の模型を見る。

やま ちょうじょう しんせん くうき す
山の頂上で新鮮な空気を吸う。

けん ちょうしゃ うんちん しら
県の庁舎までのバスの運賃を調べる。

せんとう きちようひん あず
銭湯でロッカーに貴重品を預ける。

② ずつう つうせつ せつじょ じょきょ きょしゅう しゅうしよく
頭痛、痛切、切除、除去、去就、就職

ひひょう ひょうか か ち だんかい かいそう
批評、評価、価値、段階、階層

どくそう そうい いよく よくぼう ぼうきょう きょうど
独創、創意、意欲、欲望、望郷、郷土

どうめい めいしゅ しゅたい たいそう そうさ さくし
同盟、盟主、主体、体操、操作、作詞

③ だいたいしょうい ししやごにゅう たいきばんせい くんしせいじん
大同小異 四捨五入 大器晩成 君子聖人

④ けいさつしょ けいご しょうとう
警察署 敬語 諸島

すいじょうき すいちよく じょうやく
水蒸気 垂直 条約

こうじょうしん こうてつ じょうたい
向上心 鋼鉄 状態

てんらんかい
展覧会

てんきん
転勤

こんらん
混乱

さいばんかん
裁判官

へんさい
返済

かんばん
看板

えんちようせん
延長線

えんどう
沿道

せんでん
宣伝

⑤ そうち
装置

かくちよう
拡張

かくぎ
閣議

あつしゆく
圧縮

⑥ かんけい けいとう
関係・系統

さんこう おやこうこう
参考・親孝行

じゅうだん じゅうぞく
縦断・従属

ほうもん ほうこう
訪問・方向

きかん かんたん
期間・簡単

きょうきゅう こうきょう
供給・公共

⑦ せいざ せいざ ざせき ざだん
星座・正座・座席・座談

けんとう ついとう とうぎ とうろん
検討・追討・討議・討論

ふしょう ちゅうしょう しょうがい しょうしん
負傷・中傷・傷害・傷心

たんじゆん せいじゆん じゆんぱく じゆんじよう
単純・清純・純白・純情

こうふん はっふん ふんき ふんせん
興奮・発奮・奮起・奮戦

さんばい れいはい はいけん はいしゃく
参拝・礼拝・拝見・拝借

しょくじゆ かじゆ じゆひよう じゆもく
植樹・果樹・樹氷・樹木

こうたい じたい たいにん たいしゆつ
後退・辞退・退任・退出

きょうてき しゆくてき てきち てきい
強敵・宿敵・敵地・敵意